

令和 5 年 度

「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）



阿久比町制 70 周年記念 あぐい山車まつり

阿久比町総務部政策協働課

## 目 次

□草木公民館	1
□アグピアホール	1 5
□宮津公民館	2 3
□エスペランス丸山	3 3

# 笑顔でかける**未来**



## 阿久比町制**70**周年記念

# 令和5年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月10日（水）午後7時～午後9時
□会 場	草木公民館
□参加者	町側11人、地区側63人

## 1. 町民憲章唱和

## 2. 町長あいさつ

皆さんこんばんは。4年ぶりに対面での懇談会となりますが、たくさんの方にお集まりいただき、ありがとうございます。12月から町長になり、今回の草木地区が第1回目となりますので、よろしくお願ひします。

まず、新型コロナウイルスがだいぶ収まってまいりました。ゴールデンウィーク明けの5月8日から感染症法上の区分が2類から5類に変わり、対応も大きく変わりました。さまざまな制限が解除されましたので、いろいろな活動ができるようになると期待しています。専門家の中には、第9波を懸念する声もありますが、そうならないことを祈っています。

先日、石川県の能登地方で震度6強という大きな地震がありました。愛知県では最近、大きな地震が来ておらず、前々から南海トラフ地震が来るといわれていますので、大変心配しております。安全・安心なまちづくりのため、改めて事前の準備といった防災対策をしっかりとしていかなければならないと強く感じました。皆さま方も、備蓄品の準備や家具の転倒防止などできることを再度確認していただけたらと思います。

先にも述べましたが、コロナが落ち着いてきたこともあり、ゴールデンウィークはたくさんの方が旅行に出かけ、町でもいろいろな行事が行われました。4月29日には、少し天候が心配されましたが、草木グラウンドで「春だ れんげだ 農業まつり」が盛大に行われました。若い親子連れの皆さんが多く来場し、俵運びリレーや田植え体験が行われ、多くのお店にも出店していただきました。お店の食べ物なども、すぐに売り切れてしまうほど大盛況でよかったですと思います。イベントの中では、知多娘やあぐい騰さんのステージイベントがあり、私も誘われて一緒に踊りました。多少恥ずかしさはありませんでしたが、今後このようなイベントをどんどんやっていけたらと思っています。

本で行われた臨時議会で選挙があり、新しい議長、副議長、各常任委員会の委員長などが決定しました。議長に板山地区の山本恭久さん、副議長に宮津団地地区の山本良輔さんがそれぞれ選出されました。今後、広報等で名前の発表があると思います。議長と副議長は慣例により2年で交代になりますが、これから4年間、町と議会と両輪で阿久比町が発展していくよう頑張っていきたいと思っています。

次第に移ります。この後、テーマによる懇談でも触れますが、私が今考えている、阿久比駅前再開発、阿久比スポーツ村の整備、企業誘致といった令和5年度の中で主に進めていくことをお話ししたいと思っています。次第の重点施策をご覧ください。

(資料の「重点施策」「令和5年度 当初予算」を基に説明)

- 市街地整備推進事業2, 043万円。これは私が選挙公約の中で申しました阿久比駅前の再整備に関する調査業務を行うためのものです。阿久比駅前やその周辺には、市街化調整区域が広がり、田んぼや畑が多くなっています。そういった調整区域をいろいろな開発ができる市街化区域にし、その利用方法を考えていけるようにしたいと思っています。
- 道路改良、道路・橋梁補修事業4億561万円。これは令和7年にできる新しい半田病院にも関連するもので、今後アピタ南側の道路を半田市と共に整備する計画をしており、それに向けた島田橋の耐震化と道路の拡幅を進めていくためのものです。開業する令和7年までに完成しなければなりません。それ以外にも町道等の改良や補修、橋梁点検、道路拡幅なども含めたものとなっています。
- ごみ減量化対策事業1億1,001万円。町をきれいにするため、衛生関係のことは進めていかなければなりません。これまでも、ごみの減量化に努めてきましたが、さらに可燃ごみを減らしたいと考えております。そのため、6月からプラスチック製容器包装に加え、プラスチック製品をリサイクルに回し、再資源化していきます。また、今月14日に行われるゴミゼロ運動に合わせ、今まで可燃ごみとしていた町内の各地区やご家庭で発生した刈草・剪定枝を給食センターの駐車場に集め、再資源化する拠点回収も行っています。そのような可燃ごみの削減に努めるためのものとなっています。
- 子ども医療費支給事業1億9,013万円。これまで、本町では小中学生について通院費・入院費共に無料としてきましたが、これを令和5年度につきましては、入院分を10月分から高校生年代まで拡充いたします。予算の都合はあるものの、いずれは通院分についても、今後できるだけ早い時期にできるようにしたいと考えています。
- 放課後児童健全育成事業9,528万円。小学生の学童保育に関する費用です。阿久比町は陽なたの丘などの開発により、子どもが多くなっています。その対応のため、昨年、阿久比中学校の校舎を増築し、普通教室を10室増やしました。阿久比中学校の現在の生徒数は998人、4年後には1,200人弱の大きな学校となります。ちなみに小学校はというと東部小学校879人、英比小学校739人、草木小学校239人、南部小学校353人となっており、小学校全体で2,210人となっています。相変わらず東部小学校の児童数が多いですが、学校選択制を採用したことで、200人程度が英比小学校へ移っていただきましたので、東部小学校がパンクしないで済みました。英比小学校の児童数が増えたことで、英比小学校の学童の部屋が不足しそうになったため、今年度から1クラス増やしており、希望する方に学童保育を提供できるようにしています。
- 阿久比スポーツ村整備事業9,484万円。今後、陸上競技場、野球場、交流センターを含めたスポーツ村全体を整備していく予定です。昨年、夏の期間だけでしたが、交流センターの室内プールを利用できるようにしました。室内プールですので、日焼けなどの心配がなく女性や高齢者の皆さんを始め、多くの方に水泳やウォーキングなどで利用していただきました。より多くの人に使っていただけるよう、今年度予算をつけて温水化していきたいと考えています。また、小学校プールの老朽化が進んでおり、維持が大変ですので、いずれは小学生のプールの授業もスポーツ村でやりたいと思っていま

す。

- 企業立地推進事業449万円。これも私が選挙の中で申しました公約の一つです。これからいろいろな事業を進めていくためには、税収を増やしていかなければなりません。現在、町内には農地が多いという状況ではありますが、そのような中でも交通アクセス等さまざまなことを調査・研究し、企業誘致できる場所を選定するための調査業務費用となっています。企業誘致することで税収を増やしていきたいと考えています。
- 町制70周年記念事業2,991万円。先ほども紹介したとおり、阿久比町は町制70周年を迎えました。検討委員会を経て、全部で29の記念事業を予定しており、先日行われました農業まつりが一つ目の記念事業となりました。大きなものとしては5月28日に町文化財の5台の山車を役場に集結させる山車まつりを予定しています。山車のない地区の皆さんも参加できるように、引き手の募集もしていますので、ぜひご参加いただければと思います。夏にはあぐいふれあい盆踊りの夕べとともに花火大会を予定しています。商工会の協力を得ながら実施していきたいと思います。また、今年は役場南の田んぼを使った田んぼアートの実施も予定しています。70周年を皆さんとお祝いしていきたいと思います。

本日、「阿久比町」を元気なまちとしていくために、皆さんの意見を聞かせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

### 3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

#### ① 「地域住民のつながりを深めるためにできること」について（配布資料に基づき事務局説明）

皆さん、こんばんは。今回のテーマである「地域住民のつながりを深めるためにできること」とは難しく考えないでください。「個人として地域の人にあいさつをする、地元の行事に積極的に参加する」「地域として住民が集まれるイベントを開催する」という感じでご理解願えたらと思います。

皆さんは「向こう三軒両隣」という言葉を聞いたことがありますか。「言葉のとおり、自分の家の向かい側にある3軒と両隣の2軒の家。日常親しく交際する近隣の呼び名」のことです。古い言葉ですので、昔からご近所同士のつながりの利点と必要性を理解し、大切にしてきたということが分かります。

その利点や必要性は、挙げればきりがありませんが、真っ先に思い浮かぶのが、災害時の助け合いではないでしょうか。5月5日に石川県で震度6強の地震がありました。南海トラフ大地震も近いといわれている中でしたので、皆さんも驚いたのではないのでしょうか。役場も大変心配いたしました。

（資料の「阪神・淡路大震災時における生き埋めや閉じ込められた際の救助」について説明）

災害医療分野では、生死を分けるタイムリミットとされる「72時間の壁」が存在し、被災直後に救助できないと生存確率が極端に低下してしまいます。大震災発生直後に救助活動ができる近所・隣人の力は絶大です。お住まいの地域において、近所で救助しあえるような関係性があると安心できますね。

(資料「自分の健康状態に対する意識」と「地域の人との関わり」について説明)

現役世代であっても地域との関わりのある方が健康状態を良いと感じている方が多いようで、特に65歳以上に関してはその傾向が顕著となっています。皆さんの家族や周りの方には当てはまりそうですか。

(資料「現在の「意欲・関心」と子どもの頃の「地域活動」の関係」について説明)

地域活動や地域の方との関わりなどを通して、子どもたちが受ける刺激は個々の成長にプラスになっているのですね。阿久比中学校でも、ボランティアや地域活動の有用性を理解し、そのような活動を積極的に推奨していると聞いています。

地域住民同士のつながりを持つことの利点や必要性を少しイメージしていただけただけでしょうか。

新型コロナウイルス感染症が発生して以来、人と人の交流に制限がかかり、つながりを深めるために各地区で開催されていた祭りや行事などの実施が大いに制限されました。昨年度後半から少しずつ世の中がウィズコロナ路線へと舵を切り、イベントや人と人との往来もコロナ前のように行えるようになってきました。

4月に各地区で行われた祭礼には多くの住民が訪れ、交流する姿が見られました。また、ゴールデンウィークに行われた農業まつりも大盛況でした。

4年ぶりの開催に地区の方はご苦労も多かったと思いますが、主催者の方は「大変だったけどやってよかった」と、訪れた方は「久しぶりにみんなで集まって楽しかった」と、双方から良い意見が聞かれました。そのような様子を見ると、改めて人と人とのつながりは重要で、そのつながりを生む各種活動の必要性を再認識させられました。

阿久比町では、コロナ前から住民同士のつながりを深めるために、さまざまな取り組みが行われていますので、簡単に紹介させていただきます。コロナを経て、実施回数や実施方法など若干変更しているものもありますので、ご承知おきください。

(資料「阿久比町内で行われている取り組み」「他市町での取り組み」について説明)

紹介した活動はコロナ禍で縮小・休止などありましたが、規模を縮小しつつも継続して活動している、コロナ対策を講じながら活動を行っている、また、活動を再開するために準備を進めていると聞いています。ぜひ、頑張ってくださいたいと思っておりますので、役場としてもできる限り応援していきたいと考えています。

コロナともう一つの問題が少子高齢化と人口減少です。

(資料「小学校区別の人口ピラミッド」について説明)

参考に阿久比町全体にならしますと、年少人口は16.6パーセント、老年人口は26.3パーセントとなっています。愛知県、これは2020年の数値になりますが、年少人口は13.2パーセント、老年人口は25.2パーセントとなっていますので、子どもの割

合は愛知県よりも若干良いですが、高齢化は進んでいることが分かります。4月26日発表の国立社会保障・人口問題研究所の報告によると、2040年以降、高齢者が人口の4割近くとなり、2056年には人口が1億人を切り、2070年には8700万人程度になるといわれています。

今はまだ、大丈夫だと思われるかもしれませんが、皆さんのお子さんやお孫さんが、過ごすであろう、20年後、30年後はどうでしょうか。このまま、少子高齢化が進むと、役場としての税収も減る上、高齢化の進行による社会保障費の増加により、これまでの住民サービスが維持できなくなることも想定されます。そんな時こそ、頼りになるのが、地域の助け合いではないでしょうか。

地域のつながりは一朝一夕ではできません。自分たちの子どもや孫たちが困らないようにするためにも、今からできることに取り組んでおく必要があると思います。あいさつ程度、簡単なものからでも構いません。自分たちや地区にできること、役場に期待することなどを一緒に考えていけたらと思います。私からの説明は以上です。よろしくお願ひします。

### (① について地区からの提言・質問事項についての主旨要約)

提案) 先ほど話にあったように、全国レベルでは人口の4分の1が高齢者になる時代が来るといわれています。英比地区では少子高齢化が進んでおり、あと3年もすればそうなるのではないかと考えています。英比地区で起こる問題を解決できれば、今後起こることへの対応のヒントとなるのではないのでしょうか。現状、高根台地区は元気なお年寄りが地域を支えており、若い人が少ない状況です。私は阿久比が好きですし、小学3年、小学1年の子どもたちには将来、阿久比町のためになる仕事に就いてほしいとも考えています。漠然とではありますが、阿久比町の魅力が増えることに協力したいと考えています。個人的には、子どもが自然の中で楽しめるアスレチックを作っており、そういう場所が町内に増えていくといいなと考えています。町内のいろいろな地区に楽しい集まりがあるのは知っていますが、なかなか時間がなくて行けませんが、町内に楽しい集まりが増えるまちづくりが進むといいなと考えています。

若い人はSNSを使って情報を集めて、さまざまな集まりに参加し、交流できています。高根台の年配の方と話をしていると、年配の人も集まって取り組みや活動をしているものの、情報収集や発信手段に疎くてグループ同士の交流ができていないのが現状です。年配の人がやっている活動は結構いいものがあるって、今後高齢化などでそういった取り組みがなくなってしまうのではないかと心配をしています。年配の方の取り組みの情報を若い人に発信できる活動、または、若い人に伝える仲介役のような人がいれば世代間の交流が活発になるのではないかと思います。(高根台)

問いかけ) ご提案ありがとうございます。お互いを知るきっかけづくりは大切なことです。草木地区だと、活動を知るきっかけづくりとして、どのような取り組みをされていますか。(事務局)

答) 先ほど紹介がありました草木地区のサロン活動もコロナが明け、少しずつ活気が戻ってきています。もう一つ活発にできない原因は、草木地区は高齢者が多く、また、北の

端に位置しているからではないかなと考えています。そのような中、どうやって地域のつながりをもとうか、草木地区としても模索している状況です。「参加者が少ない」「魅力がない」などと皆さんは言いますが、先ほど事務局からあったように、私たち高齢者の持っている情報は、個人情報制限もあり少ないです。そのような中、地域住民同士のつながりを持つ、コミュニティ活動を活発にしようと思っても、周りにどんな人たちがいるかなどの情報がないと進めないと感じています。我々としては、サロンを開催して居場所づくりをしています。情報発信の手段は、呼びかけ、回覧、ポスターしかないため、1日2回開催で50～80人程度集まる活動として、地道に活動しています。そうすることで、いろいろな情報が集まってくると思っています。(草木)

質問) 今、区長が尽力し、コミュニティ活動を活発にしようとしてくれています。今日も呼びかけ一つでこれだけ多くの人が集まっています。我々としても努力しますが、当然できないことや障害もあります。テーマについて意見があるかどうかを聞かれても答えが難しいので、町当局として、つながりを深めるためにできる提案をしていただきたいです。(草木)

答) 若い方との交流についての提案ですが、私の友人の住む町では、お年寄りの通うサロンに地域のお母さんを講師として招き、スマホ教室を開催し交流を深めるという取り組みを行っています。その中で、若い方にお年寄りの活動を知ってもらったり、若い方と顔見知りになったりしていると聞いています。草木地区さんでも、ぜひ、そういった講師に地域のお母さん方を招いたスマホ教室をやると良いのではないのでしょうか。その他に、地域の方の得意なことを活かして講師として招き、交流を深めてもらうこともできるのではないかと思います。(事務局)

答) 町からは、先ほど話にもありましたが、東部学区と南部学区で設置されているコミュニティ推進協議会の立ち上げを提案したいと思います。コミュニティ推進協議会が既存の学区会とどう違うかという点、コミュニティ活動は、学校に通う子どもの親だけではなく、近所の皆さんや学区の園児、その保護者も含め、学区に住む全ての方に関する広い活動です。どちらの地区も地域のために人生経験豊富な年配の方が中心となって、頑張っている活動していただいています。東部コミュニティさんは、立ち上げから力を入れて活動していますので、ぜひ、そのあたりも参考にしながらコミュニティ推進協議会の立ち上げを目指してほしいと思います。(総務部長)

質問) コミュニティの推進に関して、公民館隣の農協の建物の利用について聞きたいです。高砂会クラブを始めコミュニティの活動は、現在公民館を使って各種団体が活動しています。今後、活動場所が不足した場合、今後空く農協の建物をコミュニティ活動の拠点として使用する考えはありますか。コミュニティ活動を推進するのであれば、拠点のコミュニティセンターとすることができるとは思いますが、どうでしょうか。(草木)

答) コミュニティを作ると新たなセンターが必要なわけではありません。参考に、隣の東浦町では、公民館をコミュニティセンターと名前を変えて拠点としています。今回、たまたま農協の建物が空くので、施設として集まる場にできなくもないです。町長の考えもありますので、そのあたり聞いてみたいと思います。(総務部長)

答) ATMを残して、農協が閉店する話は聞いており、区長さんからも、それに伴い駐車場がなくなると困るという相談を受けています。地元の活動場所は残しておきたいと思



っています。農協からは、建物を壊すにもお金があるので、すぐに壊す予定はないと聞いています。建物の立っている土地ですが借地ですので、農協が借地料を払っています。今後は、借地料をだれが払うのか、払えなければ土地を返さなければいけなくなります。例えば、町が購入することができるのか、農協の土地もあるので今後どうするのか、これから農協と役場で検討していく必要があると考えています。当然、施設をどうしていくのか地元の要望も聞きながら進めていきたいと考えています。今すぐここでどうするとは答えられませんが、お話として、伺ったことは、今後農協さんと話をする上での参考とさせていただきます。(町長)

## ② 「町長と皆さんで共に進めるまちづくり」について（配布資料に基づき町長説明）

(資料の「名鉄阿久比駅周辺地図」「駅周辺詳細図」を使って説明)

名鉄の陽なたの丘開発に伴い、阿久比駅に特急が停まるようになり、名古屋まで特急で27分と通勤するには便利になりました。また、西尾知多線で三河へ行くと、刈谷、安城、碧南にあるトヨタ関連の会社へ30分～40分程度で通勤もできます。常滑市とも隣接していますので、セントレアまで30分。第2滑走路ができれば、空港関連で阿久比町を通る方も増えると思われれます。そういった環境もあり、阿久比町の人口は増えており、宅地需要に供給が追いついていない状況にあるのではないかと感じています。

しかし、阿久比駅の利用者からは、駅周辺は田んぼばかりでお店がほとんどなく、とても特急が停まる駅とは思えないという意見を聞くことが多く、今後もずっと阿久比駅が特急停車駅となるのか心配しています。阿久比駅がずっと特急停車駅となるためには、駅周辺の活性化の必要性があると考えており、少しずつでも進めていきたいと思っています。

駅前の県道名古屋半田線は、朝夕大変渋滞し、役場前信号あたりは特に渋滞します。南北について目を向けると、新しい名古屋半田線は、東海市の加木屋まで開通し、阿久比町内は高根台の入り口まで来ています。その先の土地は阿久比町内については県の買収が終わっており、工事できる状態となっています。東浦町側は民家もあり、すぐに工事するのは難しい状況です。町としては阿久比町側だけでも先に工事をしてほしいと県に要望しています。

阿久比町は、阿久比川と名鉄の線路で東西が分断されている地形ですので、東側に住む人は、西尾知多線や椋岡の踏切の道はありますが、多くの方はオアシス大橋を渡って西に来ることになるため、役場前信号のところは慢性的に渋滞となってしまいます。この東西の行き来が厳しい状況を何とかしようと、私は東側に住む人がオアシス大橋を通らずに駅を利用できるようにしたいと考えています。現在、十ヶ川・阿久比川と駅の間には、少しながら田んぼや畑があり、細い農道もあります。そこに東側から道を通すことで、オアシス大橋を渡らず東部線の方から駅を利用できるようにしたいと考えています。そうすることで渋滞緩和できますし、東に住む人が便利になると考えています。そして、駅東に東ロータリーを作って東の人は東、西の人は西から駅を利用するようにしたいです。

役場前の信号周辺ですが、役場と農協あたりは市街化区域で若干建物がありますが、役場南から南西にかけては、田んぼなどの農地となっています。できれば、阿久比高校に行

く信号のあたりまで、市街化区域にしたいと考えています。そうして商店等が立つと駅前  
に活気が出ると思います。また、阿久比高校生の通学路が暗いので、その対策にもなる  
と考えています。

都市計画道路矢高横川線ですが、現在宮津の区画整理内でストップしています。半田方  
面に抜けると、東西の行き来がしやすくなります。主要道路については、少しずつ手をつ  
けないと先に進まないのので、今年度、調査業務の予算をつけて進めていきたいと考  
えています。

阿久比町は市街化区域が17パーセントと少なく、市街化調整区域が多いです。調整区  
域はこれまで土地改良で触ってきており、開発規制がかかっていますので、簡単に市街化  
にできません。また、現在は、愛知県の市街化許可は、駅前だけではなかなか下りない  
ので、駅前周辺以外の市街化拡大も頑張らないといけません。私としては、阿久比町役場や  
中学校のある阿久比駅前周辺を中心地としたコンパクトシティを目指しており、愛知県と  
も相談しながら進めていきたいと考えております。

(資料の「スポーツ村とスポーツ村交流センターの概要」を使って説明)

スポーツ村は、陸上競技場、野球場、屋内練習場、一昨年財団から購入した交流センタ  
ーから成り立っています。その交流センターですが、真ん中には体育館、奥にプール、病  
院施設でしたので小さい病室などがあります。2階は宿泊できる部屋と現在利用できる広  
めの研修室があります。資料の四角で囲んである施設は、現在利用できますが、それ以外  
の利用についてはこれからの整備となっています。

まず、これからクラブハウスから事務室やトレーニングルームを交流センターに移設し  
ます。また、大きな競技はできませんが、トレーニングルーム横の旧医・科学研究室は大  
き目の部屋なので、例えば体操や卓球、健康体操、エアロビクスができるようにしたい  
と考えています。病室として使っていた小さい部屋ですが、耐震を保つため、壁を抜きすぎ  
るといけませんので、限られた部分しか広くできませんので、できればこのまま利用し  
たいと考えています。部屋はたくさんありますので、いろいろな団体の活動拠点として使  
つてはどうかと考えています。例えば、各協会やサークルの皆さんが、自分たちの部屋が欲  
しいという要望を持っていれば、使ってもらえるのではないかと思います。しかし、現在  
各部屋にエアコンがありませんので、利用希望なども勘案しながら今後整備していき  
たいと考えています。

室内プールですが、5コースあり、2コースは底上げして浅くしてありますので、小  
さい子どもでも利用できます。残りの3コースは、一番深いところで1m少し、浅いところ  
で80センチですので、泳いだり歩いたりできます。今年度は室内プールの温水化を  
実施します。温水化すると年中使えるので、是非町民の方に交流センターに来ていただき、  
有効活用してほしいと思います。また、会議室などの部屋はたくさんありますので、  
町民の活動の拠点に使えるといいと思いますので、利用の希望があれば社会教育課に  
相談してください。

個人的な構想ですが、スポーツ村の真ん中を通る道はアグピー号も通り、交通量が多い  
町道です。陸上競技場や野球場を行き来しようと思うと、その道路を横断しないといけな

いので、第一駐車場と交流センター駐車場の入り口、器具庫の前あたりの3箇所で道を止め、交通事故に遭わなくて済むよう歩行者専用としたいと考えています。そのためにはう回路やUターン道路を整備していく必要があります、今後検討する必要があると思っています。

スポーツ村はもともと中日ドラゴンズの2軍が試合を行っていました。現在は、高校野球の予選会が毎年行われていたり、社会人野球チームも練習したりする立派な施設ですが、野球場も陸上競技場も老朽化しているため、近いうちに改修しないといけません。2026年アジア大会が愛知・名古屋であり、もともと名古屋競馬場に選手村ができる予定で、選手村からスポーツ村はインターからアクセスしやすいので、実はサッカーや野球・ソフトのキャンプ場になる可能性があります。そういった大きな大会に関連する利用があると施設名が県内等に知れ渡ると思います。阿久比町はこんないい施設があると認知されると、利用申し込みする人も増えると思っています。スポーツ村を阿久比の方にも使ってほしいと思いますし、県内、知多半島の人にも使ってほしいと考えています。スポーツ村に来たら、立派な施設で競技できてよかったと思ってもらえる施設にできたらと思っています。

## (② について地区からの提言・質問事項についての主旨要約)

提案) 町長がいうように、朝晩、役場から棕岡のガソリンスタンドまでがすごく混みます。その解決策の検討を前にも役場にお願ひしましたが、残念ながら、「上司に聞かないと…」と言って進みませんでした。役場の20～40代の若い職員の方は、上の方のご機嫌ばかり見ているように感じます。今でもそうですか。まちづくりは年寄りやるのではなく、20～40代の若い人の意見を入れて、活発な議論をすれば、いろいろなアイデアが出てくると思います。そういうことを率先して役場がやらないといけません。田中町長さんが頑張ってまちづくりをするいい機会ですので、若い方の意見の吸い上げをお願いしたいです。道路関連では、アピタへ行く道と棕岡のガソリンスタンド近くの踏切のところが問題です。解決のためには、交通規制の時間帯を作ってはいかがでしょうか。なぜ渋滞するかというと踏切があるからです。警察との協議もいろいろあると思いますが、渋滞を緩和するには遮断機のところを一定時間規制し、アピタに行く方を優先してはどうでしょうか。また、阿久比の未来のために、工場を誘致し、税金を増やそうという考えはいいことですが、阿久比町の豊かな緑を守るということも考えてもらいたいです。

スポーツ村を町民にどの程度開放していますか。以前、阿久比中学校の野球でお世話になりましたが、スポーツ村の町民利用率は1割いっていないのではありませんか。調べてみればわかると思います。利用状況を調べてみてください。特に室内練習場の利用は、町外のチームが雨を見越して、土曜日と日曜日に保険をかける形で予約しています。そういうことがあり、阿久比中時代は苦労しました。役場の人に解決をお願いしましたが、やっていただけませんでした。ぜひ、小中学校や阿久比高校を優先利用させてほしいです。町民優先でないとい良い施設にならないと思います。(白沢)

答) ご提案ありがとうございます。私も職員として勤務しておりまして、町長選挙に出る際、職員に元気がないと感じていたから何とかしたいとは思っています。施設の利用に

ついて、この後、町民が使っていける施設となるにはどうしたらよいか、今後も皆さんの意見を聞きながら進めたいと思っています。(町長)

提案) 町長の阿久比駅周辺の整備についての考えは、ごもっともなご意見です。ぜひ進めていってほしいです。私の知り合いに住吉から電車を利用し阿久比駅で特急に乗り換える方がいます。その際、阿久比駅の東側がさみしいという話を聞くので何とかしてほしいです。阿久比川の堤ですが、草が生え放題の状況。木や花を植えるなどの環境整備をお願いしたいです。そうすれば、阿久比町、阿久比駅の雰囲気も変わるのではないかと思います。(草木)

答) ご提案をいただき、ありがとうございます。(事務局)

提案) 橋梁の設計をやっているとして、オアシス大橋や豊田大橋、常滑の橋に携わってきました。町としてお金がないのならば、国にお金をもらうような大胆な対策が必要だと思います。私がやるとしたら、カーボンニュートラルに関連した事業を行いたいと思います。EV化は、EVバッテリーを積むものと鉄道のように道路から電気をもらうものと2種類があります。そういうのを先駆けて、例えばオアシス大橋から阿久比の駅の上に道路を作ってそのまま駅に降りるとか、大胆なことを考えてほしいです。センサーまでつなげてもらうと工場を作ってもらえるかもしれません。駅を降りてすぐ行き来できる、仕事に行けるようにすると企業誘致にもつながるのではないのでしょうか。

オアシス大橋のところの土地が低いのは、東海豪雨を見れば分かります。土地を上げるのはお金がかかるので、道路を上げるのが良いと思います。最先端の内容で国の方に提案して、コンパクトシティを目指してやっていってはどうでしょうか。高速、カーボンニュートラル関係で挑戦するのは、国の予算が付きやすいので良いのではないかと思います。また、橋の上のアーチをライトアップし、キレイなところにして、多くの人が見に来るようになると町は活性化すると思います。豊田大橋は初め、人が集まりませんでした。サッカー場ができて人が通るようになったら名物になりました。大胆な発想をお願いしたいです。ただ、駅前に町を作るのは、東海市、常滑市、イオンとかいろいろの例があります。車社会なので、駅前に店ができたから簡単に人がそこに集まるわけではありません。そういう意味では、草木にたくさん居酒屋を作ってもらえれば車で行く必要がなくなりますし、陽なたの丘に何かを作るとか、大胆な発想で活性化をお願いしたいと思います。(草木)

答) ご提案をいただき、ありがとうございます。(事務局)

意見) 町議会議員選挙の時に農業関係の公約を掲げたのは、地産地消関係のことを言っていた一人だけでした。阿久比町はこれだけ農地があるのに農業関係の公約を掲げるのが一人だけというのは、阿久比の農業のこれからを考えると心配です。駅前についても土地の持ち主も絡んでくるので、阿久比の農業の未来も併せて考えながら進めてほしいです。後から後悔することがないように、前もって考えておくことが大切だと思います。ぜひ、農業をどうするかということも長い目で見て考えてください。懇談会ですから要求する会ではありませんので、こういう機会にいろいろな人から意見を聞き、それを吸い上げて、実現できるものは10の内、1または2だと思いますが、その中からいいものを取り上げていってほしいと思います。(草木)

答) ご意見をいただき、ありがとうございます。(事務局)

要望) スポーツ村については、ずっと思っていたことがあります。夢を語っていいということですので、伝えたいと思います。スポーツ村には立派な陸上競技場、プロ野球の2軍が使っていた野球場、屋根付きの室内練習場、合宿ができプールもある交流センターがあります。これに体育館を作ればもっと活性化すると思います。体育館があると、町内の方はもちろん、外の方が町にお金を落とすので、収入源になり施設の運営費にも使えると思います。

阿久比町の強みは農業なので、野菜を売るお店を出すなどして、すそ野を広げるといいと思います。町民はもちろん、町外の方にも阿久比にはスポーツ村といういいところがあると思っただけのような施設になるといいと思います。知多半島で体育館がないのは阿久比町だけと聞いていますので、体育館を作ってほしいです。また、野球場のスコアボードは、電光でないので、使う団体が減ってきています。活性化のために電光掲示板にしてほしいです。(草木)

答) ご意見ありがとうございます。野球場の電光掲示板についてですが、高校野球の知多の会場は阿久比球場がメインです。県内で高校野球や甲子園予選などが行われる球場で、電光掲示板がないのは阿久比球場だけです。財団からの寄付や補助金等を活用しながら整備を進められたらと考えています。(町長)

要望) スポーツ村の整備に関して、野球場や陸上競技場を整備すると聞きました。陸上競技場はサッカーという話でしたが、今の陸上競技場は6コースのため公式で使えないそうです。それを8コースにして公式の競技ができるようにするという考えはないでしょうか。(草木)

答) 公式に陸上競技をやろうとすると8レーン必要で、そのコースが会場に1つでは足りず、レース用と練習用と2つが必要なのです。瑞穂陸上競技場だと瑞穂陸上競技場とその横に瑞穂北陸上競技場があります。2コースないと正式な公式競技場はならないので、今の阿久比町のスポーツ村を8レーンにしたからといって公式レースができるわけではないのです。また、現在、6レーンと外に砂のコースが1レーンありまして、長距離をやる人にとっては砂のレーンが必要という話を聞いています。短距離はタータン、長距離は砂などいろいろな利用の仕方があります。仮に8レーンにしても、公式競技場とするのは難しいことをご理解ください。(町長)

要望) 町のグランドゴルフを担当しているものです。試合を5市5町の持ち回りでやっています。知多5市5町の大会を今回は半田で行うため、来年あたり阿久比町に回ってきます。グランドゴルフを野球場でやっていますが、陸上競技場の芝生面よりも野球場の芝生面の方が悪く、芝生に草が生えていてボールが転がりません。他の市町を見るといい場所でやっています。スポーツ村を手入れするなら芝生を、現状でなくもう少し立派なものにしてほしいです。高校球児も今の芝ではやりにくいと思います。野球や陸上でも使うので、是非スポーツ村の芝生をきちっと整備・維持してください。(草木)

答) ご意見ありがとうございます。芝生の件ですが、先ほどお話ししたアジア大会のサッカーの練習場で使う件について、日本サッカー協会の方が現地視察に来て、この芝生ではダメとはっきり言われた経緯があります。そのあたりも踏まえつつ今後、どうするか考えていきたいと思っています。(町長)

#### 4. 参加者との懇談

## 《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

要望) お願いなのですが、草木地区は共働きも多く、子育て世代としては、水曜日の夜の時間帯だと、子どもを寝かしつける時間と重なったりして、なかなかこういった会に出るのは難しいです。せめて金曜の夕方か土曜の午前中だと出やすいので、今後は、そういう時間帯での開催を望みます。そうすれば、役場として子育て世代の意見を聞けると思います。加えて、時間も限られるなか、皆さんたくさん意見があって参加していて、発言制だとなかなか全部の意見を吸い上げるのは難しいと思います。アンケートを作って最後に提出する形にすると、発言が恥ずかしい人も意見が言いやすいと思いますので、今後はそうしてください(草木)

答) ご提案ありがとうございます。いただいた提案は、今後、開催時間や開催方法について決めていく際の参考にしていきます。(事務局)

要望) 町長を始め、町幹部に聞いてほしいことがあってやってきました。草木地区の自主防災組織の給食給水班のメンバーで質問させてください。防災について現在、草木地区の自主防災会の給食給水班が主体で、災害時に配布できる非常食の備蓄を始めています。草木小学校に備蓄倉庫がありますが、そこがすごく高温多湿になるため食品が置けないことを、担当になって初めて知りました。避難所に食品が備蓄できないなんてことがあるんだと思いました。今ある備品倉庫には毛布とか、備品を入れてあるが、食べ物がありません。もちろん、自主防災が前提なので各家庭備蓄をしているとは思いますが。災害時はどんなことが起きるか想定できませんので、備えていても持ち出せない人がたくさんいると思います。そのため、避難所に食品を置かせてください。草木小学校以外にも町内の小学校とか避難所があると思います。どの場所も同じ高温多湿で食品が置けない状況なのではないでしょうか。このあたりのことを重要な課題として考えてもらって、阿久比町の町民の命を守るために、食品を置ける場所をどこかに確保してもらおうか、なければ新設をしてください。(草木)

質問) 続きまして、阿久比町で避難所に避難してすぐ配布できる飲料水や非常食は、避難所以外にも備蓄してあるのでしょうか。また、女性の生理用品、赤ちゃんの紙おむつ、粉ミルク、いろいろな年代の人が使える備蓄品はどれくらいあるのかお聞きしたいです。(草木)

答) まず、備蓄場所ですが、エスペランス丸山のところに丸山水防倉庫という大きな倉庫がありまして、食料品(飲料水・非常食)については、ある程度備蓄しております。食べ物に関しては、何年ももちませんので、ロングライフのスナックのようなものとなりますが、かなり備蓄してあり、水も町民の2日分くらいは備蓄しています。(総務部長)

要望) 丸山公園といったけれど、大地震の時、草木の住民はあそこまで取りにいけません。本当に大地震が来た時に他県も近隣の県もみんな同じです。それを他の県の助けも得られない状況で、高齢者の多いといわれているこの草木地区では取りにいけません。例えば真夏に起き、水2日分がないときに、そこまで取りにいけません。せっかく避難所があるのですから、各避難所に備蓄するべきです。保存食には期限があり、水も期限があります。そのあたりは町から補助金をもらって配備しています。各地区の給食給水班が、期限が切れたら、草木地区であればみんなの食堂に寄付したり、期限が近くなったら無

料で配布したりして、入れ替えを行っています。備蓄品の管理は各地区に任せてもらいたいと思います。とにかく食料や水については、自分達で備えたもので足りない、持ち出せない人が絶対出てきます。私も母親です。子どもたちを守りたいので、学校、保育園、公民館にもたくさん食料を置きたいです。高価なものは要りません。避難所に食料を全く置けないのはおかしいので、お米や水だけでいいので、最低限置かせてください。食料を置ける場所について、すぐご検討願いたいです。(草木)

答) 避難所には全く食料品を置いていないわけではないのでご理解ください。丸山防災倉庫以外にローリングストックということで、お店と協定を結ぶ予定をしています。役場の施設を店の倉庫のように使ってもらい、災害があったときは町がそこから出して使うことができるという協定を結ぶところです。災害時には、すぐになれば意味がないので、草木と近いところでも進めている状況です。そのような方法も活用しながら備蓄については進めていきたいと考えています。また、関連質問でいただきましたオムツやミルクなどもきちん備蓄しています。(総務部長)

意見) 私は草木でも端の知多市に近いところに住んでいます。そんなところでも最近、隣近所が変わりつつあると感じています。お隣に新しい人が引っ越しをしてきて、あいさつ程度は交わすのですが、なかなか親しくなれてないと感じています。昔からいる人とはあいさつに加え、いろいろな話ができるので、新しい人たちと何か交流する方法はないかなと思っています。現在、評議員の文化委員をやっている関係で、草木地区には文化祭などの秋のイベントがないので、秋のイベントをやってみようかと今話しているところです。もう少し、隣近所の方と自然と話せるようになるといいなと思います。(草木)

答) 自分も外から来たものです。来た側も壁を感じるのので、元からいる人から声をかけてもらえるとうれしいです。本当は自分の方から声をかけないといけないのですが、外から来ると少人数なので難しいです。イベントに参加した時、あいさつなども含めて、昔からいる人も勇気をだして新しい人に声をかけてもらえるとうれしいです。そうすると、自分も認められ、地区の一員になれた気分になります。私にはそういう体験があります。なかなか地道な活動ではあると思いますが、頑張っ続けていってもらい、新しい人も昔からいる人もつながりをつくってもらえればと思います。(事務局)

意見) 草木地区として、今年度は、夏祭りを行うし、いろいろな新しい活動を組み立て、新しい行事を進める中で女性・若い人の力を結集します。そういった活動がきっと大字草木を変えていってくれると思います。先ほど、町の職員の元気がないと話がありましたが、私もそう感じています。「増やさない、減らさない」というのが、町の培ってきた大きな流れなのではないかと思っています。大字草木は簡単、区長がやると言えば実行できます。そういう意味では町長と似たような立場なのかなと思っています。女性の力と若い人の力をいかに、大字草木の中に結集するかが大きな課題です。町もそういう状況であると思います。若い人たちが、「あれをやりたい、これをやりたい」という希望をもっている、係長、課長、部長に言うにつぶれてしまうといった形がある中で、若い人たちがプロジェクトチームを作ることなんかはとても大切ではないかと思っています。今日は女性がたくさん来てくれ、うれしく思います。女性の声を聞き、若い人の声を聞いて、それを先輩の人たちがフォローするという形の中で大字草木を作っていきます。地区の皆さんには、お力添えをいただきたいです。町の人も積極的に力を貸していただけると助

かります。(草木)

答) ご意見をいただき、ありがとうございます。(事務局)

意見) 阿久比町の中学の部活について話したいです。自分が阿久比中でお世話になっていた10年前と比べ、部活の時間がすごく少なくなったと感じています。中学校の部活は、子どもたちにとって人生経験と人間形成の面ですごく大切で、勉強では学べない忍耐力、協調性、健康な体などを養うことができます。きっと大人になって、部活をやっていてよかったと感じると思います。先生たち、教員の働き方改革のためと聞きますが、もう少し部活を教育の一環としてきちんとやってほしいです。日曜日はやってはいけない、月曜日は職員会議などと、どんどん活動時間が減っています。子どもたちに聞くとともにやりたいと言う子がけっこう多いです。それを大人の都合で止めるのではなく、もう少し部活をきちんとできるように考えてほしいです。私は、それが必ず子どもたちの将来に役立つと信じています。(白沢)

答) お考えは十分に分かりました。教員の働き方改革という、国主導の施策で動いていますので、勝手なことはできない状況です。その中で、部活動の地域移行を進めていますが、なかなかうまくいかない状況もあります。町としては国の方針に従いつつ、子どもたちのためにしっかりと対応していきたいと思っておりますのでご理解願いたいと思います。(教育長)

## 5. 閉会あいさつ

本日は皆さまお疲れ様でした。このような対面での意見交換は久しぶりでしたので、最初心配していました。しかし、これだけ多くの方にご来場いただき、ご意見・ご提案を伺いまして、貴重な時間を過ごすことができました。皆様のご意見の方はしっかりと事務局がまとめますので、それを幹部で検証させてもらい、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。本日は、ありがとうございます。(副町長)



## 令和5年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月13日（日）午後7時～午後8時50分
□会 場	アグピアホール
□参加者	町側11人、地区側25人

### 1. 町民憲章唱和

### 2. 町長あいさつ

同主旨のため省略（5月10日（水）草木公民館参照）

### 3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

#### ① 「地域住民のつながりを深めるためにできること」について（配布資料に基づき事務局説明）

内容は同趣旨のため省略（5月10日（水）草木公民館参照）

#### （① について地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

意見）地元で貢献したいという思いがあって自主防災会に入りました。自主防災会としては地区の防災に関して足りていないところを、一つずつ改善していこうと思っています。陽なたの丘は新しい町なのでお祭りがないので、その代わりとして防災イベントみたいなものやっけていきたいと思っています。以前も防災イベントを行っていましたが、コロナで2年くらい止まっていた。コロナが収まり、去年は11月にイベントが実施できました。今年は夏にキャンプなど避難所体験みたいなことをやっけていきたいと思ひ企画しています。秋にも何かしらの防災イベントを開催したいと考えています。（陽なたの丘）

問いかけ）ご意見ありがとうございます。地区として防災イベントをやっけてみようということは素敵なことだと思います。去年のイベントはどの程度人が来ましたか。（事務局）

意見）地区の人が結構多く来てくれました。その他に地区ができることとしては、みんなで集まれる機会なんかを増やしていきたいと考えています。また、ゴミが落ちていたら拾うとか、そういった小さなところも心がけていきたいと思っています。

役場に期待することは、20年、30年後には、人口が減り、人口ピラミッドは長方形のような形になると思います。目先のことだけでなく、人口が減った時に困らないような政策を考えてほしいです。個人的には、高齢者が働く場所を提供してほしいと考えています。例えば、阿久比町はお米、卵とか農産物が豊かなので、そういったものを売るような物産化センターを作るなどして、高齢者が働く場所を考えていただければいいと思います。そのような中で私も何らかのお手伝いをしたいと考えています。（陽なたの丘）

答）ご意見ありがとうございます。また、イベント等の日程が分かれば取材など行かせ

ていただきますので、よろしく申し上げます。(事務局)

意見) 自分も何か地域に貢献できないかと思っています。地区の活動に参加しますが、高根台地区は高齢化して、なかなか若い人がいないことが問題となっています。参加すると、ぜひ入ってほしい、そして、入るとあなたが将来引っ張っていくんだと言われる。それが、プレッシャーになって、自分としては行きづらくなります。高根台には集会場を使って活動をしている団体が10ぐらいありますが、そのような状況であると、多くの活動が今後継続できなくなるのではないかと懸念しています。(高根台)

問いかけ) ご意見ありがとうございます。お年寄りから若い人への活動の継承は難しいところだと思います。いろいろな活動をしていると聞く白沢台地区さんは、どうでしょうか。活動の橋渡しで気を付けていること、工夫していることなどを教えてください。(事務局)

意見) 学区の人口構成の図を見て、覚悟はしていましたが英比学区が高齢化していると改めて感じました。10～14歳までの年齢からいうと、東部小学校828、英比小学校410、草木222、南部319ということで、もちろん東部は多いが、英比学区も10～14歳が410人と捨てたもんじゃないと思いました。このあたりの年齢の若者を地域に巻き込むことに力を入れたいと思っています。

サロン活動は先輩が立ち上げ、回数は150回、年数は12年くらいやっています。高齢者はいずれいなくなってしまうので、12年もやっていれば発足当時とは入れ替わりがあります。昔の写真をみれば、亡くなっている方もいます。サロン活動の参加対象は60歳以上ですが、60歳で参加する人は少なく、70歳代以降の人が多いため、60歳代の世代が参加しやすい工夫を考えないといけないと思っています。

福祉というものは時代と共に進化をする必要があると思っています。そこで、高齢者の方は集会所の2階に上がるのが大変という話を聞くこともあり、今年度は集会所の2階を利用した子育て世代サロンを始めました。そうしたところ、乳児から3歳くらいの子どものいる子育て世帯が5世帯くらい参加し、交流を図っています。

また、白沢台ではさきエールという事業の中で、地域の65歳から70歳の世代のボランティア10数名で支え隊というチームを編成し活動しています。支え合いということで、ボランティアが刃物研ぎを開催したり、石をどかしたり、蛍光灯を交換したり、邪魔な木を剪定したり、高齢者が困っているという相談を受ければ駆けつけて対応しています。

さらに、これからは、高齢者・障害者・児童の枠を超えた全世代型の活動をしていきたいと考えています。阿久比町は進んでボランティアに参加しようという町民憲章のある町です。まずは、はじめに言ったように10歳から16歳の中高生を地区に巻き込んでいくことが必要だと思いますが、中高生は塾や部活などで忙しい状況です。先ほどの話ではありませんが、白沢台地区では、入るのが難しい、引き込まれちゃうという活動ではなく、「出入り自由で気軽に参加できるボランティア」という考えのもと、若者からお年寄りまで全世代型のボランティア活動を進めたいと思っています。そのために、まずは、中高生を活動に巻き込み、そして、40代の人を引き込める仕掛けを作っていく、全世代ボランティア活動により地域を活性化していきたいと考えています。(白沢台)

答) ご意見ありがとうございます。「出入り自由で気軽に参加できるボランティア活動」

を地域で行っていくのは、今回のテーマを解決するヒントになるのではないかと思います。そういった活動が広がっていくと良いのではないかと思います。(事務局)

- ② 「町長と皆さんで共に進めるまちづくり」について (配布資料に基づき町長説明)  
内容は同趣旨のため省略 (5月10日(水)草木公民館参照)

(②) について地区からの提言・質問事項についての主旨要約)

質問) 阿久比駅の東にロータリーを作って、送迎ができるようにしてほしいと思っています。東から阿久比駅に来るには必ず阿久比川を通らないといけないと思いますが、川を渡るような整備はやはり難しいのでしょうか。(卯之山)。

答) ご質問ありがとうございます。今はオアシス大橋を渡って駅に行かないといけません。私としては、オアシス大橋を使わず東部線から駅東にアクセスできるような道路を整備し、そこに東ロータリーを作って、現在ある西ロータリーと合わせ二箇所で送迎ができるようにしたいと考えています。駅東ロータリー周辺には駐車場を整備できればより良いと思っています。また、おっしゃる通り阿久比川は必ず渡らないといけないので、橋が必要となってきます。その橋に関しては、現在のあるものを拡張するのか、新しくかけるのかなどしっかりと考えて進めていきたいと思っています。(町長)

意見) 駅を利用する人は、車を使う人がほとんどだと思います。阿久比町には、無料でアグピー号が通っており、車を運転できない高齢者の方を中心に利用されていると思います。一方で、車を持っている世代はあまり使っていないと思います。駅周辺の開発と併せて駅からの交通の便を良くしてほしいです。アグピー号の増便やその他電車などの交通機関などの増便を考えていないのでしょうか。特にアグピー号に関しては免許返納の話もある高齢者が使っている割には、本数が少なく、時間は通勤時間ではありません。有料にしても構わないので、増便してはどうでしょうか。(草木)

答) アグピー号の増便については、いろいろなところで話が出ます。アグピー号の運行には1年間3,000万円くらいかかっています。2台で町内を細かく回っていますので、オレンジで38とブルーで39の停留所があります。要望の中でありました増便ですが、皆さんのご意見としてそういったものがあるのは十分承知しています。町としては、費用対効果、財政状況、使用状況などを勘案し、便の利便性を考えながらダイヤを組んでいますので、ご理解ください。いずれは増便しないといけない時期が来るかもしれないとは思っております。

デマンドバスはご存じですか。タクシーのようにバスに乗りたい人が集まって、タクシーみたいにバスを呼んで運行する方法です。現在、そのような運行が可能かどうかを検討しています。今すぐにバスの増便は考えておりませんが、将来的に考えさせていただくかもしれませんので、よろしくお願いします。(総務部長)

追加質問) 有料にしても増便することは無理ですか。(草木)

答) 有料の話ですが、法律の規制があります。実際に隣の東浦は有料でやっていますが、事業に対する充当割合は数パーセントです。どれだけ町として持ち出すかになりますので、有料にしてもすぐに便が増やせるわけではないということをご理解いただければ

と思います。(総務部長)

答) 先ほどのアグピー号ですが、これから先、駅東にロータリーができればそちらにアグピー号を入れたいと思っています。今は無料でやっているのバス停を決めるのが簡単ですが、有料になるとバス停の設置場所について警察などの許可が必要となりますので、今の方が、バス停設置などの融通が利いて良いかなと思っています。運行にあたっての収入はもちろん大切で、有料化も考えなければいけません、当面は無料で進めたいと考えています。また、阿久比は道が狭く、今のサイズが運行しやすいのですが、乗り残しのないようにしたいとはっています。今後、利用者が増えれば、大型化も考えないといけません。大きくなると、狭い道が通れなくなるので、道の整備と併せながら考えていきたいと思っています。(町長)

意見) スポーツ村の交流センターの余っている部屋を利用して、町民の視力の健康の増進に特化した施設を作ってほしいです。現在、スポーツは視力が大切であるといわれています。動体視力、深視力などの研究が進んできていますが、知多半島には目に関する施設はありません。また、発達障害を抱える子どもたちも視力を治すことで、症状が改善することもあります。高齢者にとっては、老眼にもよく、免許証の返納が遅くなるなどの効果も期待できます。施設ができれば、いろいろな年代に使ってもらえると思います。スポーツ村の周辺は緑が豊かなので、自然を利用して遠くを見ることができると思うので、是非そのような施設を考えてほしいです。(坂部)

答) ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。(事務局)

意見) 今は子どもたちが思いっきり遊べる場所が少ないので、例えば、子どもたちがバスケットやテニスの練習、その他いろいろな運動ができる楽しい施設にしてほしいです。できることから一つずつ進めていってくればありがたいです。(地区不明)

答) ご意見ありがとうございます。交流センターと器具庫の間にあぐびびびが使っている芝生広場があって、隣接する駐車場のところにも少し土地があるので、両方含めて子どもたちが外遊びを自由にできるようにしたいと考えています。交流センターの中の小さい部屋も制限はありますが、耐震化を考慮しながら壁を抜いて大きくし、スカッシュなどの屋内スポーツやeスポーツなどができるような部屋として使っても良いかなと思っています。(町長)

要望) 先ほどの地図に載っていませんが、愛知用水のため池である下ノ池が、スポーツ村に隣接しています。愛知用水が関連していて難しいかもしれませんが、ボートのような水に関するスポーツができる場もあって良いと思います。また、町民がレクリエーション的に楽しめるように、その池の西にある耕作放棄地や雑木林の木を取っ払ってバーベキュー場や遊園地といった準スポーツ施設として整備しても良いと思います。一般町民も気軽に使える施設としてほしいです。(宮津団地)

答) ご意見ありがとうございます。スポーツ村という名称ですが、スポーツだけでなく、公民館の部屋が空いていないときは文化協会の皆さんにも交流センターを使ってもらって構いませんし、学校関係でも利用してほしいと考えています。(町長)

意見) スポーツ村は、夏の時期にカブトムシが多くいるので、ちょっとした人気スポットになっています。業者が来て、捕まえているという話も聞きます。夏休みシーズンになると、毎日のように親子連れが来て楽しんでます。虫取り体験観光スポットみたいな

形で、午後7時から2時間くらいで、夜のイベントを開催し、観光スポットとして楽しめるようにしてはどうでしょうか。その際は、倒木などの事故がないようにしっかり調査をして危険がないようにしていただきたいです。(高根台)

答) 以前スポーツ村で勤務したことがあります。近くの牛屋さんの牛糞の中で大きく育ったカブト虫やクワガタが、朝行くと街灯の下に集まっているのを見たことがあります。貴重なご意見ですので、今後の参考にしたいと思います。ありがとうございます。(町長)

#### 4. 参加者との懇談

##### 《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

意見) 温暖化が進み、夏が暑くなっている中、英比小学校は子どもの通学距離が長いです。特に低学年の子どもたちは、持っている水筒が小さくて一日持ちません。当然、水分を取らないと熱中症リスクが高まってしまいます。そこで、こども110番登録事業所などをお願いして、ウォータークーラーを置かせてもらえないか検討してほしいです。設置に協力してもらえれば、子どもたちの熱中症予防や給水ができる上、下校中のトイレなどでも気軽に立ち寄れる場所になると思います。設置してもらえることになった際には、町の方でウォータークーラーの設置に関する使用料などを負担してほしいです。(卯之山)

答) 熱中症対策については、学校でも行っています。その中の一つとして、阿久比町の小学校には飲める水道水が出る場所を確保してあります。子どもたちは、持ってくるお茶や水が足りない場合は、その水道水を水筒に入れて対応しています。ウォータークーラーについては、町としてお金を出せるかは即答できませんので、今後検討させていただきます。熱中症対策については、学校の方でも十分注意してもらっていますので、よろしくをお願いします。(教育部長)

関連質問) 自分でも直接ディーラーをお願いをしに行こうと思っています。もしかしたら、ディーラーで費用を負担してくれるかもしれません。費用を負担してくれるということであれば自分たちで進めてしまっても構わないのでしょうか。協力を依頼する事業所に関しては、こども110番の家に登録してあれば問題ないという認識でよいのでしょうか(卯之山)

答) こども110番の家に登録してある事業所であれば構わないと思います。設置が決定した際は、ウォータークーラーの存在と子どもたちが利用する旨、その利用方法などを学校にしっかりと知らせていただきたいと思います。そして、学校と十分に話し合った上で運用していただきたいと思います。(教育部長)

意見) とにかく、子どもたちが気軽に立ち寄れる場所としたいと思っています。(卯之山)

答) 下校途中にトイレなどをお助けいただける場所があれば、町としても助かりますので、そのあたり、学校と十分に話し合ってもらって進めていただく分については構わないと思います。(教育部長)

関連質問) 長年使われていると思いますが、こども110番の家という名前は固いイメージがあるので、名前を変えることはできないのでしょうか。(卯之山)

答) 警察が使っている名前ですので変えられませんので、よろしくをお願いします。(教育部)

長)

質問) 英比学区の土曜教室は、先生方の働き方改革の関係で学校での開催が難しく、会場がなくて困っているという話を知り合いから聞きました。その後どうなっているかは知りませんが、実際のところはどうか聞きたいです。(白沢)

答) 英比小学校の土曜教室は、職員が戸締りをする必要がありますので、年間8回PTAの会合のある日に合わせて行っていました。今年からPTA改革の一環で、PTAで話し合っただけで会合を4回に減らしたので、残りの4回分を学校で実施できなくなってしまいました。土曜教室のために職員を休日出勤させることは難しいので、地域でも地区の公民館などの場所があるなら、4回分はそちらでやってもらえないかという相談を学校側から土曜教室のボランティアの方々にしたと聞いています。学校も土曜教室が、休みの日の勉強やふれあいの場づくりとして大切であることは理解していますので、学校と地域が歩み寄りながらお互いが工夫をして継続できるように話し合いを進めているところです。

国の施策として進んでいる先生の働き方改革の関係で、勤務時間数が非常に厳しくなっています。先生は非常に多忙でなり手が減っており、知多管内だけでも100人程度欠員があり、クラスに先生がいない状況もあります。中学校の部活も含め、今まで学校が当たり前としていたことも地域と話し合いしながら、うまく移行しながら継続できるようにしたいと考えています。(教育長)

補足) 今のところは、教育長から話のあった通り調整中です。夏休みは職員が勤務しているので、その期間中に学び~ずを実施したいという動きが出てきています。基本線として土曜教室をなくすとか、やらないということではないので、話し合いの結論が出るまで、もうしばらくお待ちください。学校としてもそういう状況ですので、ご理解願いたいと思います。(英比小学校教頭)

質問) 先日、愛知県から名古屋三河道路についてのハガキが来て、知多地区と三河地区から具体的に進めていくとありました。名古屋港から東名岡崎インターまでの道路を知多半島道路などにつなげながら進めていくそうです。阿久比インターも知多半島道路の範囲として入っていましたが、阿久比町からそのことに関して提案、働きかけはしているのでしょうか。(坂部)

答) 名古屋三河道路のアンケートは、現在実施中です。アンケート終了後、いろいろ示されて検討に入っていくと思います。阿久比町は関連市町と一緒に国などへ要望活動しています。本町としては、できる限り阿久比を通る形での要望をしています。(建設経済部長)

提案) 阿久比町の魅力をうまく発信していく一つのツールとして、阿久比町の活動の中で知多半島一番とか、愛知県内一番とか、直近では駅伝で1位になりましたが、そういうものをピックアップし、広報やホームページでPRすると、住民が町に誇りを持つことができるのではないのでしょうか。例えば、阿久比町の食に関して一番をPRしていけば、地産地消などにもつながるのではないかと思います。(宮津団地)

答) 提案をありがとうございます。(事務局)

意見) マイナンバーカードを使ってコンビニで住民票を取ることができるサービスが始まったことをテレビで見たので、コンビニに行きましたが、機械にできないといわれ、結局時間外で住民票を役場に取りに行くことになりました。コンビニでマイナンバーカー

ドを使って住民票を取るというサービスは、今後阿久比町では行う予定はあるのでしょうか。(草木)

答) 全国的にコンビニで住民票が取れるということを PR していますが、現在、阿久比町ではできていません。できるようにするためには、何千万という費用が必要となります。阿久比町規模であれば、24時間とはいきませんが、夜間や休日に中央公民館に来てもらえれば、住民票等を取れるので、そちらでお願いしたいと思います。昔は何でも住民票をつけていましたが、政府としてはマイナンバー連携を進め、そのような添付資料の必要のない社会を目指しています。24時間取れば便利なことは十分わかっていますが、費用対効果を考え、現状すぐやることは考えていませんので、よろしくお願ひします。(民生部長)

意見) 阿久比町の基幹道路は比較的整備されスムーズかなと思いますが、東西の移動は不便です。例えば、阿久比高校からオアシス大橋を渡るところやその先の渋滞はひどいです。特に役場周辺は毎日渋滞していますので、その渋滞をなくすことを考えてほしいです。東西の移動の悪い事例としては、宮津団地からアピタに行こうとするとまともな道がなく、農免道路を何回も曲がっていかないとはいけませんし、途中で通る橋も不便です。せめてアピタにはすぐに行けるようにしてほしいと思います。西側に住む人は便利ですが、町は町の東側に住んでいる人は、不便な思いをしていることを知ってほしいです。また、歩行者優先宣言のまちというなら、中高生の通学路は刈谷市の JR のように車の乗り入れのない橋をつくるとか抜本的に改善してほしいです。(宮津団地)

答) ご意見ありがとうございます。主要道路についてはしっかりと作っていかねばならないと思っています。阿久比の地図をみると、愛知県が主体になりますが、東西を行き来する道路は、西尾知多線とオアシス大橋の2本しかありません。今、実現の可能性の高いものから県の方に要望しています。一番目は、現在東海市の加木屋まで来ている名古屋半田線で、早く阿久比まで来てほしいとお願いしています。次の候補としては、オアシス大橋から宮津の区画整理の途中で止まっている都市計画道路です。宮津地区では、土地改良事業を計画しており、そこに道路を開通させて半田の方からオアシス大橋までつなぎ、さらに知多市の方までつなげたいという構想があります。そういった事業は、いかに早く進めることが大切だと考えています。都市計画道路については、計画から20年、30年経っているので、少しでも早くできるようにしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。(町長)

要望) 自主防災会としてできないことが一つあるのでお願いしたいです。現在、陽なたの丘は、830世帯あり、防災倉庫が3つありますが、物があふれているので、もう一つ買い足したいと思っています。防災会の予算だけは買えないので、何とか1台増やしていただきたいと思っています。(陽なたの丘)

答・問いかけ) 地区のバランスがあるので即答できません。地区の集会所にストックは考えていませんか。(総務部長)

答) 集会所は狭いのでいっぱいです。(陽なたの丘)

答) 大きな倉庫は難しいかもしれませんが、ここで即答はできませんが、小型の倉庫については考えさせてほしいと思いますので、よろしくお願ひします。(総務部長)

## 5. 閉会あいさつ

本日は皆さまお疲れ様でした。冒頭の町長の話にもありましたが、このような対面での意見交換は久しぶりでしたので、最初心配していました。多くの皆さまにご意見・ご提案・要望をいただきました。皆様のご意見はしっかり録音させていただきまして、事務局がまとめております。それを幹部で検証させてもらい、皆様のご意見等を今後のまちづくりに生かしていきたいと思っております。本日は、ありがとうございました。(副町長)



## 令和5年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月14日（日）午後1時30分～午後3時20分
□会 場	宮津公民館
□参加者	町側10人、地区側45人

### 1. 町民憲章唱和

### 2. 町長あいさつ

同主旨のため省略（5月10日（水）草木公民館参照）

### 3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

#### ① 「地域住民のつながりを深めるためにできること」について（配布資料に基づき事務局説明）

内容は同趣旨のため省略（5月10日（水）草木公民館参照）

#### （① について地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

意見）地域の人と会ったときのあいさつは大切だと思います。あいさつを続けることが大事なのではないかと思います。（宮津）

答）ご意見ありがとうございます。私もあいさつはやっぱり大切だと思います。日頃から、会ったときにあいさつを交わせる地域になるといいと思います。（事務局）

問いかけ）あいさつ以外はどうでしょうか。東部学区では東部コミュニティ推進協議会を立ち上げて、いろいろな活動を行っています。昨年行われたキャンドルナイトは、多くの方が訪れ大変好評でした。きっと地域住民の交流を深めるイベントとなったのではないのでしょうか。イベントに携わった〇〇さん、感想などがあればお願いします。（事務局）

意見）コミュニティではありませんが、宮津地区で困っていることをお話ししたいです。宮津だけでなく、町内、愛知県、全国的にもそうかもしれませんが、地域を支える人、担い手がないということが困っています。地域活動に参加しようとする人がいませんし、見つかりません。宮津区会は22名で活動していますが、退職する方をお願いするものの、新しい人がなかなか出てこないため、結局、退任の方を引き延ばして対応しています。そこでどうしたらよいかを地区として考え、まず地域活動を皆さんに知ってもらう活動を行いました。具体的には、地区で行っている草刈り、門松づくりなどの活動について、写真を多用し、回覧や掲示板を使って地域の方に見てもらいました。立ち話などで聞いた評価としては、「よく分かった」「よかった」など好意的なものが多かったです。やり方が回覧や掲示板だけだと昭和30年代、サザエさんの時代のやり方なので、個人として考えていることではありますが、ここを少し変えたいと思っています。今の若い人は、回覧板ももちろん見っていますが、スマホを中心にホームページなどで情報を集めていますので、宮津のホームページを作成し、スマホで検索してもらえようにした

いと思っています。宮津だけだと知名度がないので、間口を広げるために町のホームページに宮津地区のホームページのリンクを張ってもらえないでしょうか。高校までは地元から通うものの、大学進学や就職をきっかけに宮津や阿久比を離れる人がいます。離れた人もホームページがあれば、地元でやっていることを知ることができます。私もそうでしたが、年齢が上がれば、地元が気になるものです。時間はかかりますが、そういった活動を展開していきたいと思っています。(宮津)

問) 意見) ご意見ありがとうございます。宮津地区として情報を知ってもらうために回覧し、次はホームページに取り組もうとしているというのは、素晴らしいことだと思います。町のホームページにリンクを張ることについて、総務部長どうでしょうか。(事務局)

答) ご意見ありがとうございます。町のホームページには、セキュリティポリシーがあるものの、リンクを張るだけなら問題ないように思います。宮津のホームページができたら、役場政策協働課に相談してください。検討していきたいと思っています。(総務部長)

意見) 今、宮津さんからとてもいいアイデアをいただいたと思いつつ、誰がホームページを作るか、誰が保守するのか、お金をどうするかなど、阿久比23区最小の横松が乗っかるにはどうしたらいいかを考えながら聞いていました。宮津、萩 宮津山田など、いろいろな地区でホームページが広がっていき、横松も始めてくださいと言われても4年ぶりの祭りを終わらせるだけで精一杯な小さい部落であるので難しい状況です。そこで、今の提案を広めるための底支えを町にお願いしたいです。お金のことはあるし、若い子もいるからある程度の技術面の保証があればできるかもしれませんが、それを区長、副区長、書記、会計にやれよというように言われると、さっきの話のように、さらに後任者の選出が難しく、悪循環になります。そうならないように、ホームページについて、全体で進めることができたらと思います。怠けているつもりはありませんが、一番困るのは宮津や萩がやっているのに、横松はどうするということになると困ってしまいます。私たちも区会を10人でやっており、新人の発掘が難しい状況は同じです。それ以外にも氏子やいきいきクラブの人材確保も難しい状況です。私たちも、活動を地域の人に知ってほしい気持ちはあり、活動をPRして、盛り上げていくのはとてもいいアイデアだと思いますが、そういう活動を支えていくにはどうしたらよいかを皆で知恵を出し合っていたらと思っています。(横松)

答) ご意見ありがとうございます。(事務局)

意見) 宮津山田に限らず、私が感じているのは世代交代です。一つのイベントをやると、年寄り集まって、いろいろやってくれますが、若い人は入ってきません。理由を聞くと、「手伝うのはいいけど、役はやりたくないで、手伝いもしない」という流れがあるそうです。自治会の中でも班長などの役が回ってくるのですけれど、誰が会長をやるのかなどはなかなか決まりません。陽なたの丘さんなどのようにくじで決めているという地区もあります。自治のリーダーをどう育てるのか、リーダー性をどのように引き出すのか、これが一番大切ではないかと思っています。いわゆるつながりについては、イベントに参加する人は一時のつながりで、作り上げていく人同士が共に話し合いながら、知恵を出し合いながら作り上げていく過程が、人と人とのつながりを強くすると思います。イベントをやることはもちろん大切です。しかし、イベントを作り上げていく人間をい

かに育てていくかが、つながりを深めるために必要だと思います。同好会が廃部するなど、今まで作り上げてきたものがどんどん減ってきています。若い人が何を求めているかを知る必要があります。きっと何かやろうということがあるはずです。30代～50代の人で、仕事が忙しいという理由で地域活動に参加しない人が参加したくなるような魅力あるものを探し出していくことが大切だと思います。例えば、盆踊りは嫌だけど、ハロウィンならやりたいということがあるかもしれません。実際に、私の家の裏で何人か集まってやっているの、ハロウィンのニーズはあり、若い人が集まる可能性を秘めていると思います。今までやってきた古いものでなく、新しいものを生みながら、今の若い人が求めるものやっていくことが大切です。それをやるにも町の協力が必要ですので、お願いします。(宮津山田)

提案) 若い世代代表としてお願いしたいです。私は子どもが5人おり、祖父母も近くにいないので、家事・育児全て自分たちで分担して行わないといけません。今回、長男が6年生になったのをきっかけに子供会を引き受けました。毎週のように会議があり、昼・夜出席しなければなりません。主人はスポ少のコーチをボランティアでやっており、私は他の子どもの世話、仕事などかなり厳しい時間の中で動いています。私としては、会議やイベントに出たい気持ちはありますが、まだ一番下の子どもが1歳で、こういう会議に連れてくるのは気が引けるため、子育て世代が会議などに顔を出すのは厳しいと感じています。私たちのような世代が出席しやすいように子どもを見てもらう環境、例えば託児なども考えてほしいと思います。そうしてもらえると、会議に出席がしやすくなります。今後、少しでもそういったことを考えていただけたらありがたいです。(宮津)

答) ご提案ありがとうございます。まちづくり懇談会は、お子様がいる方が参加しづらいという声を別の会場でも聞きました。今回、草木地区では、地域の方が子どもを別部屋で見るという感じで託児を行い、子育て世代が参加しやすいよう工夫している様子を見て、大変参考になりました。いただいたご提案は、今後の検討材料とさせていただきます。(事務局)

要望) 東部宅老所代表です。「地域住民のつながりを深めるためにできること」ということについて、私たちは、高齢者を対象に公民館で、月・木の昼に手作りの昼ご飯を作り、手遊びや貼り絵などで楽しんでもらう宅老所を行っています。今18人の参加登録があり、大体4～10名が遊びに来ます。参加者の平均年齢は88.2歳、私たちボランティア側は20人平均73歳。一人45歳がいるのでその人を抜くと75歳です。「地域住民のつながりを深めるために」という思いで頑張っており、一つだけお願いがあります。宮津公民館には、いくつか手すりをつけていただけていますが、女子トイレの反対側がなく、トイレの利用が不便です。今、シニアカーで来る人がいて、何かにつかまらないうと立てない人もいます。公民館の方に相談したら、50万円以上予算がないと難しいということでした。棒一本で50万円はしないと思います。モルタルのしっかりとしたものなので、自分達で作業するのは難しいです。これから地震があったときもトイレは使うので、みんな困っています。私たちは、住民同士のつながりを作るためにがんばっているの、宮津公民館の女子トイレにバーをつけてください。(宮津)

答) ご意見ありがとうございます。しっかりと意見を受け、担当と相談していきます。(町長)

要望) 午前中、阿久比では宮津だけが行っている「花のとう」という伝統行事がありました。地域住民のつながりを作るためには、神事も住民の方に参加していただき、交流していただくのも一つだと思います。以前から宮津は班長に半ば強めのお願いをし、担当する方を決めてお手伝いしてもらっています。本日は7人に参加してもらいました。秋葉神社祭など、大きな行事の際にも、各班に割り当てて参加してもらっています。半ば強めのお願いではありますが、どんな行事があるか知ってもらうためには有効ではないかと思っています。せっかく宮津に越してきたのだから、参加することで地域を知って、つながりを作ってもらい、いいところに住んだなと感じてほしいと思っています。

菊に関しての意見ですが、宮津地区には菊同好会がありますし、以前は阿久比町内各地区にありました。菊花展に関して、コロナや菊連合会の不祥事もあって、今宙ぶらりんになっています。町の菊花展は、昭和55年から続いている伝統ある町の観光資源の一つでした。この先、菊花展の再開を町の方で真剣に考えているかお聞かせ願いたいです。菊花展が中止したのを機に、何地区かの菊同好会は消滅しています。せっかく今まで続いたものが消滅してしまうのはもったいないです。今はコロナで一時中止という感じなので、できれば早めに過去のような阿久比町みんなの菊花展の開催を考えていただきたいです。昨年度、地区の菊花展としての予算はいただきました。今年度は住民税1%町民予算枠制度わくわくコラボ事業として、補助金をいただくことになっています。コラボの予算は永遠に続くものなのでしょうか。おそらくコラボの趣旨から同好会にずっと補助されるのは考えにくい。そのあたりも踏まえ、もう一度阿久比町みんなの菊花展としての開催を前向きに検討してほしいと思います。(宮津)

答) ご意見ありがとうございます。職員をやっておりますので、菊花展のことは承知しています。確かに阿久比の菊花展は、全国に誇れる事業でした。綺麗な菊を育てるには、1年通して世話をしないといけないので、大変なご苦労があることと思います。そういったことをずっと続けている皆さんや地区には、これからも菊づくりを続けてほしいと考えています。町として協力できる体制を作っていけたらいいと思いますが、すぐに以前あった連合会のような組織を作っていくのは難しいと思います。町として菊を作る皆さんの思いを大切にしていきたいということを思っていますので、これからも菊づくりを頑張っていたきたいと思います。(町長)

② 「町長と皆さんで共に進めるまちづくり」について (配布資料に基づき町長説明)  
内容は同趣旨のため省略 (5月10日(水)草木公民館参照)

(②) について地区からの提言・質問事項についての主旨要約)

意見) 阿久比駅に長くいて思ったことですが、駅に向かう喫煙者の方が頑張って脇で吸ってから改札へ入る姿を多く目にしました。どうしても、喫煙しないと落ち着かない方もいる中、全国的に喫煙所がなくなり、喫煙者の権利があまりにもなくなっているように感じています。申し訳なさそうに隅で吸っている姿を見て、単純に喫煙所を設置できないのかと思います。(高台)

答) 以前は駅に灰皿はありましたが、今の時代は、皆さんが集まるところに灰皿を設置す

ることは難しいため、数年前に撤去しました。喫煙所は、煙が漏れない施設が必要ですので、今のところ予算的に設置は難しいと考えています。貴重なご意見の一つとして承ります。(建設経済部長)

意見) 阿久比駅の周辺のことですが、自転車の置き方がめちゃくちゃ悪いと思います。線路側にきちんと柵を作って置けるようになってはいるのに、名鉄駐車場側のフェンス側や派出所裏側の北側にいっぱい停めてあって、私がオアシス大橋から歩いて駅に行こうと思っても邪魔でしょうがないです。大型のバイクも停めてあります。こんなマナーの悪い地区は知りません。名古屋の星ヶ丘や栄には駐輪場があって、そこはきちんと置いてあります。それに比べると阿久比町の住民の駐輪マナーは違反だと思います。そんな風に誰が教育したのかというのが不満なところです。(宮津団地)

意見) 駅前のことに関連してですが、オアシス大橋の明かりが以前から少し暗いと感じています。駅から宮津山田方面に向かうと、高いところには街灯がありますが、下るところに街灯がありません。特に下るところの両側に草や竹藪があって、夜遅いと誰か出てきそうで嫌な雰囲気があります。女性が安心して通れる明るさにしてほしいです。(宮津山田)

関連質問) ご意見ありがとうございます。橋についている街灯が暗いということですか。街灯自体がないということですか。(建設経済部長)

答) 橋の途中の低いところには街灯自体がないということです。(宮津山田)

答) 知多建設事務所の方に伝えまして、設置を検討してもらうようにお願いします。(建設経済部長)

意見) 私は通勤で阿久比駅を使うので、1時間に特急2本、急行2本の合計4本の電車が停まるのはとても便利なので、先ほど町長が言った阿久比駅東の開発には大賛成です。オアシス大橋を渡らなくても駅に通じる東側の道に関しては、広さも含め十分安全な道を作っていただきたいです。

現在ある阿久比駅西側のロータリー辺りの開発ですが、商業施設を建てれば一時期繁盛するものの、5年後、10年後もずっとにぎわう場所としていくには、ただビルを建てるだけでは十分ではありません。

コロナによって就業構造自体変わっている中、果たして商業施設を作ることが良いのか、再考の時期だと思います。半田に友人がいて、知多半田駅前のクラシティの話が出ます。昔の知多半田駅はものすごくにぎわっていました。今の知多半田駅はどうでしょうか。クラシティの活かし方、利用の仕方が課題となっています。クラシティの中に子どもの保育をやっているところがありますが、ママが自分の子を連れて行っても、ビル4階の駐車場に行かないといけないので、非常に不便だと聞いています。多面的な課題が多いと思います。そういった話を聞くと、ただ大きな商業施設を作るだけということは、短絡的で今の時代にはそぐわないと感じています。

アグピー号の発車時刻はどのように決めているのでしょうか。名古屋から会社を4時か5時に出て帰宅する際、特急電車が阿久比駅に着く前にアグピー号が出てしまいます。普通に考えると電車が停まって、5分後くらいに発車するなら分からなくもありませんが、時刻が改定されるごとに見ても、ずっと変わっていません。団地の方、東ヶ丘の方とかから不満がでないのかなと思います。僕が見ている限り、アグピー号は少人数

を乗せて、発車することが多いです。名鉄の時刻に合わせるではないけれど、そちらを見ていただき、利用者第一ということで考えていただきたいと思います。そんなに難しいことではないのかなと感じます。

あとは西側の市街化のことも個人的には賛成です。阿久比駅は先ほど話が出たように周りが田んぼと畑。特急電車が停まる駅なのですかと言われることが多いです。ぜひ、にぎわいある特急停車駅にさせていただきたいと思うので、実行をお願いいたします。(萩)

答) ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。(町長)

意見) 阿久比駅前のことです。普段は駅まで歩いて行きますが、帰りが遅くなったときに、連れ合いを迎えに行くのですが、ロータリーが迎えの車でいっぱいになるんです。特に雨が降る日は余計にひどく、駅前のロータリーは駅前と渡った向こう側の両脇に車がずっと停まって、通行人にとっては非常に危ない状態です。ロータリーの広さがもう少し欲しいです。これから東側という話がありましたが、迎えのバスの空間を広くとることも計画に入れていただいたらありがたいと思いました。(宮津団地)

答) ご意見ありがとうございます。電車がくる時間になると送迎の車の渋滞もあり、それに伴って名古屋半田線が渋滞することもあります。そのため東側にロータリーを作って迎えの車を優先に、西側にはアグピー号やタクシーを優先にするなど渋滞しないための工夫ができたらいなと考えています。すぐにはロータリーを広げることは難しいと思いますので、今後の課題にさせていただきます。(町長)

意見) 機能的なことについては、今まで皆さんが詳しく言ってくれました。他には、阿久比駅らしい特徴をどうするかということが大切ではないかと思います。それは人が集まってくることを狙った特徴になると思います。例えば、阿久比の場合だと教育に力を入れているのだから、保育園が阿久比駅内にあって、そこに子どもを預けてそのまま通勤できるだとか、阿久比として将来、他の町に誇れるような機能面を持たせると良いのではないのでしょうか。私が阿久比にきて十数年、孫が幼稚園に入って、良い園に入ったと思います。しかし、阿久比町は園が施設のにも機能的にも点在して連れて行くのが大変です。駅に子どもを連れてきて、そのまま通勤できるようにするといった工夫を考えていったらいいのではないのでしょうか。

もう一つは、阿久比駅の川を越えた東側の壁面です。今はただ壁面があるだけなので、そこに半田でやっているようなヒガンバナを植栽してはどうでしょうか。ヒガンバナなくても阿久比町らしい、モニュメントとまでは言いませんが、「阿久比駅」はこんなことをやっていると思われるような、他にはない阿久比駅らしい特徴を阿久比駅の周辺に作っていったらいいのではないかと思います。(宮津)

答) ご意見ありがとうございます。今後、愛知県との相談しながら、阿久比駅周辺をどのように整備していったらよいか考えていきたいと思っています。保育園については、以前は待機児童うんぬんと話がありました。しかし、今は年間出生者数が、一番ピークの半分以下まで下がっています。一学年400人程度の学年がある反面、生まれた子どもが190人にいていない学年もあります。陽なたの丘ができ、若い方が多く越してみえて、子どもが一気に増えましたけど、現状は、子どもの数は少なくなっています。少子高齢化の関係について、これから方策を考えなければならないと思っています。

人口もどんどん減っていく中、国も若い人を特に子どもを増やすことに対して異次元

の子育て政策ということ掲げており、町としても子どものこともしっかりと考えていきたいと思えます。(町長)

意見) 阿久比スポーツ村ですが、私は職業柄、体育の方に関して興味があります。生涯スポーツという面から、14ページの平面図を活かすヒントの1つとして聞いてください。皆さん常滑競艇のモービーをご存じですか。親子で遊べる有料の遊び場のことです。イオンにも小さい有料のキッズスペースもあります。私もよく孫を連れて遊びに行きます。あえて小さい子、先ほどの子供会のお母さんの話ではないですけど、雨が降ったらそこに連れて行ってちょっと楽に時間を過ごせるようにすると思います。今もスポーツ村にも少しボールプールがあるとか聞いているのですが、これだけのスペースがあるのですから、阿久比スポーツ村に行けば、モービーとかセントレアのフライトオブドリームス、ボルダリングスペースのような設備があるような素敵な施設に生まれ変わってほしいと思います。もちろん、野球チームの誘致もいいのですが、まずは小さい子どもが気軽に安全に遊べるスペースを作ってほしいと思っています。よく卯ノ山の児童館に孫を連れていくときに、スポーツ村のボールプールも面白いよと言われるんですけど、それがもっと大きく展開していただけると、阿久比としては他市町からも人が来ていただけるような楽しい施設になるのかなと思います。(横松)

答) ご意見ありがとうございます。(町長)

#### 4. 参加者との懇談

##### 《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

要望) 東部小学校の児童が通う道幅5メートルほどの通学路に横断歩道をつけてもらいたいです。私は見守り隊をしており、雨の日も風の日も毎朝430人の児童の通学を見守っています。場所は、宮津団地の郵便局からまっすぐ南に行き、川につきあたったゴミステーションのところ。そこは抜け道になっていて、朝のラッシュ時に自動車が郵便局の方からそこを通過して、蟹田橋の交差点に抜けていきます。ひどいと50・60キロで走ります。雨の日、子どもの横断中に車が来て、クラクションを鳴らしたことがあり、子どもたちはびっくりしていました。阿久比町は歩行者優先の町だけど、運転手にとっては車が優先となっています。横断歩道があれば、たぶん車は停まるのではないかと思います。

過去に警察にもお願いしました。それでもやってくれませんでした。学校に言ったらそれは管轄外と言われました。先日、それで役場の担当者をお願いしましたが、うやむやで終わりました。いつになるか分からないけれど、いつかあの場所は大きな人身事故が起きると思います。(宮津山田)。

答) 長い間、見守り隊をしていただき、ありがとうございます。子どもの状況もよく知っていただき心強く思っています。横断歩道の設置については、町ができることよいのですが、公安の許可がないとできないので、これからは設置の要望を警察に続けていきます。役場に相談いただいていることなので、一度役場でも確認したいと思えます。横断歩道、通学路、信号を要望していますが、自分も設置していただけないのが難しいと感じています。だからと言って放置するわけにはいきません。町としてもできる限り警察

に要望し、警察に見てもらい、危険性を理解してもらいながら進めていきます。(町長)  
追加要望) こういうことは事故が起きればすぐやってくれます。5分間でいいので、実際の様子を朝の通学時間に町長が直に見てください。(宮津山田)

追加提案) その件で、別の提案なのですけれども、進入禁止にはできないのでしょうか。あの道に入ってくるのは、生活者でなく外からの通行者がほとんどです。朝と夕方時間を区切って進入禁止にすれば効果があると思います。それも含めて検討できないのでしょうか。(宮津)

答) そのあたりの要望も踏まえ、警察と協議していきたいと思います。制限をかけることについては、う回路の確保などの問題があり、なかなか難しいというのが現状です。(町長)

追加提案) 郵便局前の道路があるので、う回路はすでにあります。そっちを通ればよいのに、そっちは混むものだから、わざわざこっちの生活道路を通るのです。それを止めるのが一つ解決になると考えています。(宮津)

答) スクールゾーンの設定も一つです。英比小学校の近くの農道に時間制限をして車両を通行止めにしてがあるので、そういったことができるのかも踏まえて、今後検討していきたいです。(町長)

要望) 先ほど話がありました見守り関連で、私も下校時の午後3時30分から午後4時ごろまで蟹田橋の交差点ところで見守りをしています。先ほどの話を聞いているとなかなか町でできないため、警察へのお願いになるかもしれませんが、見守りをしていると、半田から来る車が蟹田橋交差点を右折して中入って、先ほどの郵便局を抜けて陽なたの丘の方へ行きます。私が見ても、右折信号がないため多い時は南北に4、5台並び、東西が青になっているにもかかわらず無理やり右折してきます。宮津の新興住宅地、陽なたの丘に行く人の近道ということもあり、オアシス大橋東よりも右折車は多いのではないかと思います。大変危なく、毎日見てひやひやししながら見守りしています。先ほどもありましたが、必ず事故が起きると思いますので、ぜひ右折の信号をつけてもらいたいです。(宮津)

答) ご要望ありがとうございます。そちらも警察と協議し要望を出していきます。(町長)

意見) 今年から土曜教室の代表になりました。東部小学校の土曜教室は平成27年から数年になります。東部小学校は校長先生を始め、4役が協力的。土曜にも関わらず土曜教室開催のサポートをしてくれます。先日、おらが村の〇〇さんから、他の小学校土曜教室の状況を聞いたら、東部小ほど協力的ではないということを知りました。先生たちの働き方改革の影響で、大変な思いをしていると聞いています。私たち、土曜教室の講師やボランティアは、地域の方が子どもたちの学習をサポートしたいという思いでやっています。学校の先生たちも大変だとは思いますが、できる限り先生方には迷惑をかけないように、講師やボランティアでの運用を考えているので協力願えないでしょうか。先生方が無理ならば、土曜日に関しては、兼ね合いは分かりませんが、町役場の人に助けってもらえると、学校の先生も少しは楽になるのではないのでしょうか。(宮津)

答) ご意見ありがとうございます。英比学区でも似たような質問をいただきました。英比小学校はPTAとの会合の抱き合わせで土曜教室をやっています。PTA改革で会合が年8回から4回になった関係で、学校で実施できる土曜教室もそれに合わせて4回となり



ました。現在、残りの4回分は地域の公民館や集会所などで実施できるように話し合いを進めています。土曜教室の価値は教育委員会としても理解しているので、なくなるようなことはありません。何とか、続けていけるよう現在、学校と地域の方々と話し合いをしています。本来、土曜教室は、学校がやっているものではないですから、学校にやってほしいというのは少し話の筋が違うように思います。ぜひ、コミュニティの中で協力しながら子どもたちを育てていくという形で進めていってもらえればと思います。(教育長)

要望) 公共施設、具体的には中央公民館とアグピアホールの利用規定の改定をお願いしたいです。イベントなんかで使う際のネックになっていることがあります。それは中央公民館の予約が2カ月前、アグピアホールの予約が3カ月前ということになっていますが、これは短すぎます。少なくとも半年前から予約できるように利用規定を改定してほしいです。(宮津)

答) ご意見ありがとうございます。その件についてはいろいろなご意見もあろうかと思しますので、今後検討させていただきます。(教育部長)

要望) 宮津地区では、宮津公園、さるこ公園、いたちだ公園の3つの公園を管理しています。現在、いたちだ公園には立派な東屋がありますが、さるこ公園と宮津公園にはありません。先ほど述べた公園は3つとも、洪水等何かあった時に区民が避難する町の緊急避難場所に指定されています。いたちだ公園以外は、雨よけや日よけの場所がなく野ざらし状態。良く調べると東屋のあるいたちだ公園は浸水区域に入っています。区民を避難させるのに浸水区域に避難させるのだったら、浸水しない公園に避難させた方が良いのに、そこに屋根がないのは不便だしおかしいと思います。一度そのあたりを含めて、東屋の設置をご検討ください。また、平日の何も無い時も子どもたち、その他に高齢者も多く利用するので、熱中症を防ぐ意味でも、ちょっと休憩できる屋根のある東屋の設置は必要であると思います。(宮津)

答) ご意見ありがとうございます。現在、公園の整備は老朽化した遊具の更新を優先しているところです。他の公園の整備計画も参考にしながら検討していきます。(建設経済部長)

関連質問) 防災面からのアプローチはどうですか。(宮津)

答) ご意見ありがとうございます。しかし、避難場所は一時的な待機するところで、そのあとに避難する避難所は一定期間滞在するところと、役割が異なっております。建物がないところを、一時的な待機場所として避難場所としていますので、避難場所に屋根のある東屋を設置することは、現在考えておりません。(総務部長)

提案) 高齢化社会になったということを聞きました。町内で7,000人以上の後期高齢者がおり、将来的には10,000人にもなるだろうと思われれます。今後、90歳以上の独居老人と言われるような人たちが増え、ちよくちよく孤独死をする案件が発生するのではないかと心配しています。そういう人たちをどのように見守り、介護していくかが大切だと思います。そのためには高齢者施設や働くヘルパー、介護士といった人たちが将来的に多く必要になると思います。町として、これから高齢者施設を増やし、不足するであろうヘルパーや介護関係の職員を増やしてもらえたらと思います。(宮津団地)

答) 町でも超高齢化社会に向け、介護保険老人福祉計画を3年ごとに見直しており、今後

3年間のものをこれから作ります。町全体としても入所の施設が足りていません。そんな中、昨年度、植大地区に新しい30床の入所施設を作りました。また、居宅サービスの方で予定しているものがあるものの、昨年実施した公募には手が挙がりませんでした。コロナの影響もありますが、業界としては、介護する職員が徹底的に足りておらず、問題になっています。介護職員を増やすことは、町単独では難しいので、国の方に要望していきます。町としては計画を見直す中で不足しているものは何かを分析し、町で施設を建て職員を雇う状況は難しいため、民間を誘致して必要なものを補っていきます。先ほどお話ししました植大地区の入所施設は、土地は事業者持ちですが、建物や備品に関しては億というお金を国や県、町などが補助をして整備しました。今後、そういった必要な施設に関しては、国や県の補助をもらい、民間を誘致しながら進めたいと思っています。何でも介護保険でやってくれということになると、税金をたくさん使わないといけなくなり、結果として介護保険料を上げないといけなくなってしまうと思います。

そんな中、ここ数年町が取り組んでいるのは地域包括ケアです。何かと申しますと、地域に住んでいる人同士で少しでも助け合いながら、各々がご自宅で過ごしていただく取り組みです。しかし、最後は介護保険の力でその人を支え、良い終わり方をしてもらわなければならないと思っております。今日は、地域づくりについて貴重なご意見をいただきました。高齢者のことについて、サロンや宅老で皆さんに協力をお願いしているところです。地域の方にご協力いただき、足りないところは町が計画を立てながらサポートを実施していくという形で進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。(民生部長)

## 5. 閉会あいさつ

本日は皆さまお疲れ様でした。このような対面での意見交換は久しぶりでしたので、最初心配していました。今日もたくさんのご意見・ご提案・要望をいただきました。本当に貴重な時間を一緒にもてたと思っております。皆さんのご意見はしっかり録音させていただきました。事務局がまとめております。それを幹部で検証させてもらい、今後のまちづくりのヒント、参考とさせていただきます。本日は、ありがとうございます。(副町長)

## 令和5年度「まちづくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月23日（火）午後7時～午後8時50分
□会 場	エスペランス丸山
□参加者	町側10人、地区側36人

### 1. 町民憲章唱和

### 2. 町長あいさつ

同主旨のため省略（5月10日（水）草木公民館参照）

### 3. 懇談会テーマと質問事項等の主旨要約

#### ① 「地域住民のつながりを深めるためにできること」について（配布資料に基づき事務局説明）

内容は同趣旨のため省略（5月10日（水）草木公民館参照）

#### （① について地区からの提言・質問事項についての主旨要約）

意見）天候の心配がありましたが、今年に関しては何とか地区の祭礼を開催することができました。想像以上に多くの区民の皆さんに参加いただけましたので、よかったと思っております。（植）

答）ご意見ありがとうございます。他の地区はどうでしょうか。（事務局）

意見）今年は春祭りを開催させていただきました。しかし、例年のようには上手くいかず、規模縮小で行いました。まず阿久比地区の恒例でありましたお囃子についてですが、4年ぶりということもあり、対象の3年生～6年生の全ての児童が、初めて笛や太鼓を触るという状況でした。保存会の皆さんを始め、さまざまな方の協力を得まして、5回程度しかない練習でしたが、1曲でも多くという思いを持って何とか実現できました。区民の方々より「よかったね」と言っていたいています。我々阿久比としましては、やってよかったなと思っております。しかし、来年はどのように実施するのかというのは課題として残っております。（阿久比）

問いかけ）ご意見ありがとうございます。やはり久しぶりということもあり大変なこともあったかと思いますが、地域の方が集まってくれるのは良いことですよね。（事務局）

提案）地域づくりを進めていく中で、高岡の現状を申し上げてこれから検討の材料にいただければと思います。高岡の世帯は約120世帯ということですが、その中で南部小学校へ通っている子どもの数が、以前は40人くらい子ども会のメンバーがいたかと思うのですが、今は10人ほどです。来年は6年生が3人減って、入ってくる子が1人ということでまた減少してしまいます。毎朝見守り隊として前田橋であいさつをしていますが、やはり子どもの数が減っているなど感じます。子どもが減るとその子どもの親の関心も低くなってしまいます。今すぐに解決できる問題ではないと思いますが、高岡

に関して住宅を建てられるように土地利用の制限を解除していただければと思いますが、昔ながらの田んぼの土地ばかりですので、それも難しいのかなとは思っています。また、高齢者もさらに高齢化しており、これまで宅老で楽しんでいた方々も徐々に参加できなくなってきており、参加者が減ってきています。現状を踏まえて、町民憲章にある「ボランティア活動に積極的に参加しましょう」というようなことが実現できれば、子どもから高齢者まで気持ちを一つにすることができ、地域づくりの一助となるのではないかと思います。(高岡)

答) ご意見ありがとうございます。また、見守り隊の活動もありがとうございます。ボランティア活動をすすんで行っていくということが地域づくりにつながっていくというご意見、ありがとうございます。(事務局)

答) 私は以前民生部長を務めておりまして、当時は地域の皆さまのサロン活動や支え合い活動に関わりました。少し前に社会福祉協議会で、今はどのような活動を行っているのかを確認したところ、南部地区の高岡では宅老、他のほぼ全地区でサロン活動が行われているとのことでした。ただ、阿久比町の中でもまだそういった活動などが行われていない地区もあるということで、今年は卯之山地区でサロン活動を始めると聞きました。また、他でも訪問活動といったことを始める地区もあると聞きました。まさにボランティア活動は行政の方から促すのではなく、地域の声で始まっていくことで長く続いていくのではないかと思います。

話は変わりますが、私は今年度4月から副町長となり、初めて大古根の祭礼に招待いただき、夜にお邪魔しました。大古根地区は大きい地区ではありませんが、10代、小中、高、大学生の若い女性が非常に多いことに驚きました。同様に20代の若い男性も多く、太鼓で祭りを盛り上げていました。それを見守る親や地域の方々が自然に笑顔になる様子があり、古くからある祭礼こそが地域のつながりの原点なのではないかと感じました。今後は子どもが少なくなっていくと思いますが、ぜひ続けていただければ地域のつながりはなくならないと思いますので、地域の伝統芸能を大切にしていっていただきたいと思います。(副町長)

② 「町長と皆さんで共に進めるまちづくり」について (配布資料に基づき町長説明)  
内容は同趣旨のため省略 (5月10日(水)草木公民館参照)

(② について地区からの提言・質問事項についての主旨要約)

提案) 町長の話されたことに大変賛成です。役場がまだ調整区域だった時に、阿久比地域と卯之山の一部地域、役場周辺を市街化区域にしようという話があり、私も賛成しましたが、反対が多くできませんでした。役場と中学校だけ市街化区域となったと記憶しています。できれば、あのあたりを全て市街化区域にできれば発展をしていくのではないかと思います。私は名古屋へ電車で通勤をしており、巽ヶ丘の駅を過ぎて白沢あたりから名鉄沿線は田んぼばかりで、半田口を過ぎてやっと街が見えてくるというようなことを昔から言われることがあります。難しいとは思いますが、できれば県道と東部線の間を市街化調整区域から外して市街化区域にして商業地域か何かに変更すれば、いろいろな

企業や店の誘致ができるのではないかと思います。今、東部線のあたりは市街化調整区域でも建てられる医療機関ばかりです。あの辺りを宅地に開発すれば、もっと阿久比町は発展するのではないかと思います。農業関係者もいますので簡単にはいかないと思いますが、将来のことを考えると市街化調整区域から外していただきたいと思います。(阿久比)

答) ご提案ありがとうございます。市街化区域の件については、現在愛知県のまちづくり推進室と相談を始めています。今阿久比町には市街化区域であっても整備ができていない暫定用途地域がありますので、そちらの解消に向けて担当課が業務を進めています。それと併せ、愛知県と協力し、阿久比町の発展のためにどういった方法があるのか検討をしていきたいと思っています。(町長)

提案) 私の案ですが、阿久比駅裏には田んぼがあり、車が1台通れるかくらいの狭い道があります。以前そちらに車が止まっていたようで、私も気になっていたところ、町の農業委員会の方が注意してくださり、解消したという経緯があります。その阿久比駅の東の細い道路、佐々眼科からオアシス大橋までのあたりを調整区域から市街化区域にしていただきたいと思います。阿久比駅の東側は車のすれ違いができる広い道路や、楕円形でも構いませんのでロータリーもできたらよいのではないかと思います。そして、さらにロータリーから名鉄の下をくぐり現在の県道に接続できる幅のある道路を作ることができれば、さまざまな方面からのアクセスもしやすくなると考えています。先ほどお話しした道は、将来のことを考えるとバスが通れるような広さの道になるといいと思います。東側に道路を通すためには、十ヶ川と阿久比川に橋を架ける必要が出てきますが、その橋はオアシス大橋のような大きなものでなく、宮津にある程度のもので構わないと思っています。(阿久比)

答) ご意見ありがとうございます。駅の東側に道路を通し、ロータリーを作るという考えはかなり私の考えと近いのではないかと思います。(町長)

提案) 地域としてではなく、スポーツ競技団体の意見として申し上げますと、総合体育館が欲しいというのは長い間スポーツ競技団体からの要望でよく聞いています。ただ予算の面で難しい部分はあるかと思います。道路などを付け替え、一体化などをしてもう少し広い面をとることができれば、今のまま施設をいかしつつ総合体育館を建てられるのではないかと思います。そういった事業が進めば、スポーツ村の利用頻度の向上などにつながるのではないかと思います。(植)

答) ご意見ありがとうございます。実現は難しいと思いますが、半田市が総合体育館の建て替えを検討しているようですので、近隣市町との広域連携で大きな大会のできる体育館を作ることができればいいのかなと考えたりはします。本町の場合、総合体育館を建てると競技場も野球場も隣接しており、施設の一体利用が出来るため、メリットは十分あると思っています。個人的にはスポーツ村に体育館を建設したいという思いはあります。(町長)

提案) スポーツ村の交流センターですが、会議室として活用できる部屋がいくつかあるということで、フリーWi-Fiを導入していただきたいと思います。施設内にフリーWi-Fiがあれば、研修や会議ではもちろん使えますし、スポーツをする際もインターネット接続によって動画なども見ながらトレーニングをすることができるとと思います。近隣市町の

体育館施設などでフリーWi-Fiを導入している利便性のある場所はあまりないと思います。ぜひ、ご検討をお願いします。(植)

答) ありがとうございます。インターネットが自由に使える環境というのはこれからの時代必要だと思います。最近ではeスポーツというゲームで行うものがあり、そういったことを行うには、やはりインターネット環境が必要だと思います。そのようなことを踏まえ、スポーツ村だけでなく役場などを含め、公共施設でのWi-Fiの整備を進めていく必要があると感じています。参考にさせていただきます。ありがとうございます。(町長)

提案) 夜寝るだけのために阿久比に帰っている者ですが、この阿久比スポーツ村は避難場所などに指定されている施設でしょうか。(矢口)

答) 避難場所というものは広い公園のような場所のことを指し、避難所というものは建物のことを指します。交流センターも避難所として指定をしておりますし、スポーツ村自体が県の災害時の物流拠点になっています。有事の際はスポーツ村に全国から物資が届けられる場所になります。防災の面でも活用を進めていきたいと思っております。また、エスペランス丸山の防災倉庫では食料や水などいろいろなものを備蓄しておりますが、場所がなく困っているという現状があります。自分としては、交流センターには部屋がいくつかありますので、防災関連の物資の倉庫としての活用も考えていきたいです。もう一つまだ途中段階ですが、ある業者と協定を結んで、備蓄する食糧や水、医療用品や生理用品などをローリングストックして活用していくということも考えています。長期的に町が保存していても、消費期限や使用期限が過ぎて使えなくなってしまうと処分に困ります。ですので、業者や企業の方にうまく使っていただき、有事の際には町が使用する。そういったことを進めたいと考えております。(町長)

関連提案) せっかく阿久比インターからも近くアクセスもいいので、道路なども整備していただき、ヘリポートなども整備されたらいいのではないかと思います。(矢口)

答) ありがとうございます。陸上競技場が災害時のヘリポートになっております。災害時には、ヘリコプターが物資運搬のため着陸しますので、県が年に1回訓練も行っています。(町長)

## 4. 参加者との懇談

### 《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

提案) 町制70周年記念で今年度さまざまなイベントがありますが、冠事業だけでなく、歴史に残るような事業を検討されてはいかがでしょうか。その例の一つとして、20年・30年先の阿久比町を考えるアンケート調査を全戸配布で実施するのはいかがでしょうか。またアンケートに参加したということが、町の行政や行事などにより関心を持ってもらえるのではないかと思います。もう一つはこのまちづくり懇談会ですが、以前は各字単位や自治会単位で開催をされておりました。その後は職員の方の働き方を考えてだと思っておりますが、開催場所が減り、夜間の開催に変更され、時間制限もある形になりました。今回は学区1会場の計4会場ということで開催されています。この状況はコロナ禍よりも少ないという会場数です。町民の皆さんの声を聴く機会ということでぜひ開催方法や回数などの検討をお願いします。(高岡)

答) ご意見ありがとうございます。今阿久比町は若い子どもたちが多くいる町ですので、その子たちが20年、30年先に阿久比町に住んでいてよかったなと思えるようにしていかなければと考えています。未来を見据えたアンケート等も検討していきたいと思っています。皆さんから声を聴く機会を作ることも必要だと考えておりますので、参考にさせていただきます。(町長)

答) ご意見ありがとうございます。まちづくり懇談会について、今年4回の開催とした経緯についてです。コロナ禍で4年間開催できていなかったという状況がありましたので、どのような方法が一番お集まりいただけるのかということを考えてみました。今日は平日の夜、その他に土曜日の夜と日曜日の昼間にも開催をいたします。さまざまな時間帯や曜日でやってみて、どの時間帯や曜日が一番お越しいただけるのかというのを考えながら試行開催しております。確かに以前は12地区とか8地区で開催しておりましたが、最近では6地区、4地区で開催をしております。本日は多くの方にお越しいただいておりますが、会場によっては参加者が非常に少ない場合もあります。町民の方の声が聴けるよう、開催方法や回数を含め一番良い方法を検討していきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。(総務部長)

提案) 先ほど阿久比駅周辺の道路のことでお話しましたが、駅の前にお店を建ててはいかかかと思ひ追加で発言させていただきます。現在、阿久比駅周辺には中華料理屋はありますので、そのほかの日本食や回転ずしなどのグルメに関するお店を誘致してほしいと思います。先ほどの道路の続きになりますが、矢高横川線がもう少し東や西、常滑や乙川の方まで行って他の線とつながると、阿久比駅の方に人が流れてきます。そうなりますと駅の駐車場はとて不足になると思いますので、駅周辺に広い駐車場が必要になってくると思います。これまで、私はいろいろな場所に出かけてまいりましたが、どの駅も2件くらいは喫茶店などが建っています。ですので、阿久比駅周辺にもう少し人が集まれるような場所が必要だと考えています。(阿久比)

答) 発展するために道路は必要不可欠だと思っております。この矢高横川線に関しても土地改良を主として道路開発を進める方向でしたが、なかなか進まない部分があります。土地改良を主とするのではなく、県に話をして、都市計画道路単独でも進めていく必要があると思っております。宮津の方では土地改良事業が若干進みかけていますので、宮津のことは建設経済部長より説明させていただきます。(町長)

答) ご質問ありがとうございます。今町長より話がありました通り、宮津の方では土地改良事業と道路を進めている状況です。おっしゃるとおり、東の方ができれば、阿久比駅を利用する方も増えると思います。矢高地区の西の方は、土地改良事業がうまく進まないということもありますので、町長より話がありました。道路単体でも進めていく方法もあると思いますので、そこは愛知県に要望をしながら進めていければと思います。あとはお店の誘致の件ですが、まずはそこに人が集まる状況にならないといけないと思いますので、まずは駅前の整備を行い、駅の東の方に道路を通して、ロータリーを作り、余った部分に駐車場をと考えております。今年度委託を出して愛知県と相談しながら検討していきたいと思っております。よろしく願いいたします。(建設経済部長)

要望) 大字阿久比に循環バスが通らないということがあります。過去に前区長からも公会堂の前を通れないのかという要望をしておりますが、道が狭いということで却下されて

いる状況です。しかしながら、ほかの地域は狭い道でも、循環バスが通っている事実もありますので、再要望させていただきます。ご検討のほどよろしく申し上げます。(阿久比)

答) ご意見ありがとうございます。いろいろな地区から、より地区の中の方まで入ってきてほしいというご意見はいただいておりますが、現在2台のバスで効率よく巡回するためにルートを考えておまして、阿久比町という小さな町にしては多い78箇所の停留所を設けております。停留所を増やすとなると、またその分ほかの停留所が減ってしまうということがあります。何年かに一回停留所などを再検討し、ダイヤ改正などを行っております。次回のダイヤ改正時に、いろいろな要望を踏まえ細い道に入っていくても現状と変わらず効率よく運行できるという状況になりましたら、そのことも考えさせていただきます。町内全体のバランスを考えますと、先ほどの要望に対してすぐにできるとは言えません。今後バスを増やすことなどありましたら、その時に検討させていただきます。(総務部長)

要望) 先ほど〇〇さんがお話した通り、高岡は新しく家を建てる土地がありません。次男や三男は離れて行ってしまいますし、新しい人も入ってきません。そうするとやはり子どもが減ってしまいます。あまりよくない言葉ですが、30年後、40年後は限界集落のようになってしまうのではないかと危惧しております。固定資産税が上がるためよく思わない方もいるかもしれませんが、他の方からのお話が出ましたように、市街化の拡大をお願いしたいと思います。また、阿久比町の30年後、50年後のことを考えると、飛島村やみよし市のように企業や国の施設などを誘致して、税収入を増やして町の収入を増やしていけるような町政運営をしてほしいと思います。(矢口)

答) ありがとうございます。当然さまざまな事業を行うに当たってはお金が必要になりますので、町の財政を考えていかなければならない中で企業立地について検討させていただきたいと思います。県などに話を聞くと、コロナにより停滞していた部分が動き出し始めているということです。セントレアの第二滑走路や愛知県のスタートアップ事業も進み出しています。阿久比町は、名古屋や三河、空港にも近く企業などにとって立地条件なども悪くないと思いますので、土地の確保や調整区域の解消を相談しながら進めたいと思います。そのために今年度は、候補地を選定するための調査費を増額しておりますので、少し前進できるのではないかと考えています。(町長)

答) ご質問ありがとうございます。矢口と高岡に市街化区域は少ししかないのが現状です。調整区域は市街化を抑制する区域になっておりますので、農家住宅などを除いては建設できないようになっております。市街化を拡大していくことについてですが、阿久比町には暫定用途地域がいくつかあります。まずはそこを市街化できるような形で、暫定用途地域の解消を目標としています。そのあと市街化の拡大を検討していきたいと思います。阿久比町の市街化区域はポツンポツンと分断されています。役場の南側なども分断されていますので、連続性をもった形で市街化を形成していけたらと思います。県の都市計画課のまちづくり支援窓口と相談しながら進めていければと思います。よろしく申し上げます。(建設経済部長)

## 5. 閉会あいさつ



本日は皆さまお疲れ様でした。多くのご意見・ご提案をいただきまして、貴重な時間を過ごすことができました。本日の皆様のご意見の方はしっかりと事務局がまとめますので、それを我々幹部で検証させてもらい、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。(副町長)